対象校No. 63

注4

学校コード F115110105055 注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分: 学部の学科の設置

注1



注2

長岡技術科学大学大学院 工学研究科 先端工学専攻 (博士後期課程)

# 【事前相談】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

# 国立大学法人長岡技術科学大学 令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局 (課) 名 大学戦略課企画·広報室

職名・氏名 室長・五十嵐 千枝

電話番号 0258-47-9207

(夜間) 0258-47-9207

e — mail kikaku@jcom. nagaokaut. ac. jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
  - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

- ( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称:◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合:「〇〇大学」

・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合:「 $\bigcirc\bigcirc$ 短期大学  $\triangle\triangle$ 学科」

・大学院設置の場合:「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合:「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合:「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、 当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b\_menu/toukei/mext\_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、 該当番号を記載してください。

# 目次

# 工学研究科

<先	端工学専攻>	ページ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 1
2.	授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 5
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 13
4.	既設大学等の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 14
5.	教員組織の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 15
6.	附帯事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 38
7.	その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 40

# 1 調査対象大学等の概要等

# (1) 設置者

国立大学法人 長岡技術科学大学

- (2) 大 学 名 長岡技術科学大学
- (3) 調査対象大学等の位置

〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町1603-1

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
  - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載して ください。

# (4) 管理運営組織

職名	設置時	変 更 状 況	備考
理事長	(フリガナ) <b>氏 名</b> (現職就任年月)	(フリガナ) <b>氏 名</b> (現職就任年月)	
学長	(カマド シゲハル) <b>鎌土 重晴</b> (令和3年4月1日)		
研究科長	(タケダ マサトシ) <b>武田 雅敏</b> (令和3年4月1日)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ( )書きで記入してください。
  - (例) 令和5年度に報告済の内容 → (5) 令和6年度に報告する内容 → (6)
  - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
  - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
  - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

#### (5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
  - なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位
  - (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、 別ファイルにて提出してください。

  - ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、 設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、 我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程 を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

#### (5) 一① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	の計画		学生募集の停	備考
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	止について	1/用 - 芍
工学研究科 先端工学専攻 博士 (工学)	工学関係	3 年	30 人	2年次 0 人次 3年次 人次 4年次 0 人	90 人	ı	

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を ( ) 書きで記入してください。
  ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
  ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の
  「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
  - 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、 「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「一」を選択。)

#### (5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	令和法	元年度	令和:	2年度	令和:	3年度	令和 4	4 年度	令和	5年度	令和 6	6年度	春季入学以外の 学期区分につい	収容定員	収容定員 充 足 率	備	考
区分	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	_	充足率	(控除後)	Pitts	ņ
A 入学定員	ک - ) - ]	- 人 - ) - ]	- ) - ]	- 人 - ) - ]	- - )	- - - ) - ]		人 80 0 ) 0 ]	(	人 80 0 ) 0 ]	( (	人 0 )) )]				9月入学 を入学を 員」として ひまり	定干し
志願者数	- ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- (-) [-]	- (-) [-]	10 (0) [0]	14 (0) [13]	26 (0) [4]	12 (0) [11]	23 (0) [9]	( )				いる。	,
受験者数	- ( - ) [ - ]	- (-) [-]	- (-) [-]	10 (0) [0]	14 (0) [13]	26 (0) [4]	10 (0) [9]	23 (0) [9]	( )	春季入学以外の 学期区分を設け る予定	0.83倍	-					
合格者数	- ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- (-) [-]	- (-) [-]	10 (0) [0]	14 (0) [13]	26 (0) [4]	10 (0) [9]	23 (0) [9]	( )	3772				
B 入学者数	- ( - ) [ - ]	- (-) [-]	- (-) [-]	10 (0) [0]	12 (0) [11]	24 (0) [3]	10 (0) [9]	22 (0) [8]	( )								
入学定員超過率 B/A	-	_	-	-	-	_	0.	73	1.	13	0.	73					

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「一」を記入してください。
  - ( ) 内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、
  - (( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
  - 転入学生は記入しないでください。
  - ・ [ ]内には、 $\underline{\mathbf{a}}$ 学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)
  - に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入</u>してください。
  - 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。
  - なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してくださ
  - (春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「一」を選択。) 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。

算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)Ⅳ.33収容定員の充足状況」をご確認ください。

なお、計算の際は<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、

報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。

- 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」 第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「一」としてください。
- 「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

#### (5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度	令和力	元年度	令和 2	2年度	令和:	3年度	令和 4	4年度	令和!	5年度	令和(	6年度		備	考	
学年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		1)用	75	
	_	_	_	_	_	_	10	11	24	11	22	10	9月入学を入学定員	「若干人」	として設	けている。
1 年次	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[0]	[10]	[3]	[10]	[8]	[9]				
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )				
			_	_	_	_	_	_	10	0	22	11				
2年次	/		[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[0]	[ 0 ]	[3]	[10]				
			( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )				
					_	_	_	_	_	_	10	0				
3年次	/				[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]		[ 0 ]				
					( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( 0 )	( 0 )				
												_				
4 年次								[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]				
			_		_		( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )				
計		- - 1	г	_ 1	г	- _ 1	2 г т	0]	4 Γ1	5 3]		'5 '0]				
ā i		— ) — 1	(	— ) — 1	(	— ) — 1	_	) )		) )		0 )				

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

  - ・ 報告年度の3月1日現在の情報を記入してください。(適年度にJいては、各年度に場合の場合としていた。 ・ [ ] 内には、<u>留学生の状況について、**内教で**記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。 ・ ( ) 内には、<u>留年者の状況について、**内教で**記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。 ・ <u>編入学生や転入学生も含めて記入</u>してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。 また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。 「計」については、<u>各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数</u>を記入してください。

#### (5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分				内訳		
対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	入学した年度	退学	者数	主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
对家牛皮			ハテした干皮		うち留学生数	
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
171111111111111111111111111111111111111			令和2年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和元年度	人	人	
令和4年度	21 人	1 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	1 人	1 人	[除籍(1人)]
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和5年度	45 人	2 人	令和3年度	人	人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	2 人	0 人	就職活動・就職(2人)
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和6年度	75 人	0 人	令和3年度	人	人	
コ和ロ十尺	/3 人		令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
			令和6年度	0 人	0 人	_
合 計		3 人		3 人	1人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。<u>(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)</u>
  - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
  - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学カ不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他
- (5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】				
<u>令和元年度の退学者数(a)</u> = - 令和元年度の在学者数(b) -		=	-	%
【令和2年度】				4
令和2年度の退学者数(a) = - 令和2年度の在学者数(b) = -		=	-	%
【令和3年度】			_	ı
<u>令和3年度の退学者数(a)</u> 令和3年度の在学者数(b) = <u>-</u>		=	-	%
【令和4年度】				i
令和4年度の退学者数(a) 令和4年度の在学者数(b)	1 21	=	4.76	%
【令和5年度】	21			1
令和5年度の退学者数(a) 令和5年度の在学者数(b)	<u>2</u> 45	=	4.44	%
「令和6年度】	40			1
令和6年度の退学者数(a)	<u>0</u> 75	=	0	%
令和6年度の在学者数(b)	/5			J

(注) · 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

# 2 授業科目の概要

# <工学研究科 先端工学専攻>

# (1)一① 授業科目表

# 【認可時又は届出時】

科目	100 APR 41 PM	配当		单位数					の配		兼任
区分	授業科目の名称	年次	必	選	自由	教	准教	講	助数	助	兼担
エネ	<u> </u> 		修	択	由	授	授	師	教	手	担
必	エネルギー工学輪講 I	1.2.3①	3			8	15				5
修	エネルギー工学輪講Ⅱ	1.2.3②	3			8	15				5
科	研究者倫理	1.2.3(1).(2)	1			8	15				5
目	小計(3科目)	-	7	0	0	8	15	0	0	0	5
	熱エネルギー工学特論	1.2.3②		2			1				1
	流体エネルギー工学特論	1.2.3②		2		1					1
	エネルギー変換・制御工学特論	1.2.3②		2			1				1
	パワーエレクトロニクス・メカト	1.0.01		_							
	ロニクス工学特論	1.2.3①		2		1	1				1
	電気化学エネルギー工学特論	1.2.3①		2			1				
	超電導材料工学特論	1.2.3(2)		2		1					
	環境発電セラミック材料工学 特論	1.2.3①		2			1				
選	エネルギー変換材料工学特論	1.2.3②		2		1					
択	脱炭素システム特論	1.2.32		2		1					
科目	プラズマ・核融合工学特論	1.2.3①		2			1				
П	高エネルギー密度プラズマ物	1 • 2 • 3(1)		2			1				
	性工学特論 原子カエネルギーマネジメン	_							l		i
	ト特論	1.2.3①		2							1
	応用核化学	1.2.31		2		1					
	環境放射能特論	1.2.3②		2			1				
	火災・爆発安全特論	1.2.31		2					l		1
	生体材料工学特論	1.2.31		2			1		l		i
性を	小計(16科目)    ・制御工学分野	-	0	32	0	6	10	0	0	0	6
	が、 利仰 上 字 分野 情報・制御工学輪講 I	1.2.3(1)	3			13	17	1	1		1
必修	情報・制御工学輪講Ⅱ	1.2.3(2)	3			13	17	1	ĺ		1
科	研究者倫理	1.2.3(1).(2)	1			13	17	1	l		1
Ħ	小計(3科目)	-	7	0	0	13	17	1	0	0	Ť
	計算機工学特論	1.2.3(1)	Ė	2	Ť	1	. ,	•	٦	Ť	Ė
	有限要素解析特論	1.2.3(2)		2		,	1		l		i
	非線形システム設計特論	1.2.3①		2		1					l
	カオス・フラクタル情報数理工	1.2.3(1)		2							1
	学特論	_									'
	情報回路工学特論	1.2.3②		2		1			l		i
	非線形光学特論	1.2.3②		2		1	2		l		i
	信号画像処理特論	1.2.3①		2			2				l
	超精密計測工学特論	1.2.3①		2		1	4				l
選	システム制御工学特論フィードフォワード制御特論	1·2·3② 1·2·3①		2		1	1				l
択	データマネジメント特論	1.2.3(1)		2			1				l
科口	超精密加工工学特論	1.2.3(2)		2		1	'				l
目	機械要素設計工学特論	1.2.3(2)		2		1					l
	機械・環境系設計工学特論	1.2.3(1)		2		1			l		i
	人間·社会·産業情報学特論	1.2.3(2)		2		1	1		l		i
	経営戦略特論	1.2.3①		2		1			l		i
	社会情報学特論	1.2.3①		2			2	1			l
	情報数理応用工学特論	1.2.3①		2		1	1				l
	生体医工学特論	1.2.31		2		1					l
	ネットワークシステム特論	1.2.3②		2			1		l		i
	脳·生体情報工学特論	1.2.31		2			1				
<del>1</del> 十 小	小計(21科目)		0	42	0	13	13	1	0	0	1
	工学分野    材料工学輪講I	1.0.03	2			10	10	А	1		-
必修	材料工字輪講 I 材料工学輪講 II	1·2·3(1) 1·2·3(2)	3			12 12	13 13	4	ĺ		7
修科	研究者倫理	1.2.3(1).(2)				12	13	4	l		7
Ħ	小計(3科目)	-	7	0	0	12	13	4	0	0	7
	先端材料創製工学特論	1.2.3(1)	<u> </u>	2	J	1	10	7	J	J	
	応用非破壊材料評価特論	1.2.3(1)		2		1					1
	回折物理学特論	1.2.3(2)		2			1				1
	無機構造材料工学特論	1.2.32		2		1	1				1
	精密分子設計特論I	1.2.3(1)		2		1	ı İ				Ė
	精密分子設計特論Ⅱ	1.2.3①		2		1					l
	有機機能材料工学特論	1.2.3②		2		1					l
	有機固体化学特論	1.2.32		2		1					l
	機能材料工学特論	1.2.3①		2		1	1				1
	材料物性学特論	1.2.3(2)		2			1				1
	19 イイ1の 1工 丁一1寸 向間										

### 【令和6年度】

z		<b>377</b> 111	į	单位数	数	専	任教	員等	の配	置	1
科目 区分	授業科目の名称	配 当年 次	必	選	自	教	准教	講	助	助	
エゥ	<u> </u>  -  -   ルギーエ学分野		修	択	由	授	授	師	教	手	-
	エネルギー工学輪講Ⅰ	1.2.3①	3	l		10	15	1			Ι
必修	エネルギー工学輪講Ⅱ	1.2.3②	3			10	15	i			
科	研究者倫理	1 • 2 • 3(1) • (2)	1			10	15	i			
目	小計(3科目)	-	7	0	0	10	15	Ť	0	0	t
	熱エネルギー工学特論	1.2.3②		2			1				t
	流体エネルギー工学特論	1.2.32		2		1					
	エネルギー変換・制御工学特	1 • 2 • 3(2)		2			2				
	論 パワーエレクトロニクス・メカト	1 2 0 2		_			-				
	ロニクス工学特論	1.2.3①		2		2	1				
	電気化学エネルギー工学特論	1.2.3①		2			1				
	超電導材料工学特論	1.2.3②		2		1					
	環境発電セラミック材料工学	1 • 2 • 3(1)		2		1	0				
*88	特論	_					ľ				
選択	エネルギー変換材料工学特論	1.2.3②		2		1					
科	脱炭素システム特論 プラズマ・核融合工学特論	1 • 2 • 3 ② 1 • 2 • 3 ①		2		1	1				
目	ラフスマ・核酸ロエチ付調 高エネルギー密度プラズマ物	_									
	性工学特論	1.2.3①		2			0				1
	原子力エネルギーマネジメン	1-2-3(1)		2							1
	<b>▶特體</b> 応用核化学										1
	心用核化字 環境放射能特論	1·2·3① 1·2·3②		2		1	1				1
	<sup>央災</sup> ・爆発安全特論	1·2·3(2)		2			'				
	生体材料工学特論	1.2.3(1)		2			1				
	イオンビーム工学特論	1.2.3①		2			4				
	小計(17科目)	-	0	30	0	9	9	0	0	0	ł
情報	・制御工学分野				Ū	•	•	Ů	Ū	•	_
必必	情報·制御工学輪講 I	1.2.3①	3			19	19	1			Ι
修	情報・制御工学輪講Ⅱ	1.2.3(2)	3			19	19	i			
科	研究者倫理	1 • 2 • 3(1) • (2)	1			19	19	1			
目	小計(3科目)	-	7	0	0	19	19	1	0	0	t
	計算機工学特論	1.2.3①		2		1					t
	有限要素解析特論	1.2.3②		2		1	0				
	非線形システム設計特論	1.2.31		2		1					
	カオス・フラクタル情報数理工	1 • 2 • 3(1)		2			1				
	学特論 情報回路工学特論	1.2.3②		2		1	1				
	非線形光学特論	1.2.3(2)		2		2	i				
	信号画像処理特論	1.2.3(1)		2		1	i				
	超精密計測工学特論	1.2.3①		2		1	•				
	システム制御工学特論	1.2.3②		2		1	0				
選	フィードフォワード制御特論	1.2.3(1)		2		1	•				
択	データマネジメント特論	1.2.3(2)		2			1				
科目	超精密加工工学特論	1.2.3(2)		2		1					
	機械要素設計工学特論	1.2.3(2)		2		1					
	機械・環境系設計工学特論	1.2.3①		2		1					ĺ
	人間·社会·産業情報学特論	1.2.3②		2		1	2				ĺ
	経営戦略特論	1-2-31		2		4	·				1
	社会情報学特論	1.2.3①		2		1	1	1			1
	情報数理応用工学特論	1.2.31		2		1	2				ĺ
	生体医工学特論	1.2.3①		2		1	3				ĺ
	ネットワークシステム特論	1.2.3②		2			1				1
	脳·生体情報工学特論	1.2.3①		2			1				L
++ 4/-	小計(20科目)	-	0	40	0	17	14	1	0	0	Ĺ
	工学分野   共物工学	1000	_			10		_			Г
必	材料工学輪講 I 材料工学輪講 II	1.2.3①	3	l		12	14	1			1
修科	材料工字輪誦Ⅱ 研究者倫理	1·2·3② 1·2·3①·②	_	l		12 12	14	1			1
17	小計(3科目)		7	0	0	12	14	1	0	0	H
	小計(3件日) 先端材料創製工学特論	1.2.3①	<del>-</del>	2	U	1	14	_	U	U	H
	元	1.2.3①		2		1					ĺ
	回折物理学特論	1.2.3(2)		2		l '	1				ĺ
	無機構造材料工学特論	1.2.3(2)		2		0	0				1
	無機構這材料工字符論 精密分子設計特論 I	1.2.3(2)		2		1	ľ				1
	精密分子設計特論 II	1.2.3(1)		2		1					1
	有機機能材料工学特論	1.2.3(2)		2		1					1
		_		2		1					ĺ
	有機間体化字符論	1 • 7 • 3(2)						1	i l		1
	有機固体化学特論 機能材料工学特論	1·2·3② 1·2·3①		2		1	0				ı
		1.2.3(2)				1	0				

40	I	a 1						ı			
択科	エレクトロセラミックス工学特論	1.2.3②	<i>\</i> '	2	1 1		1				
目	''''' 破壊予測工学特論	1 • 2 • 3(2)	<i>\</i> '	2	1 1	1					
	構造安全設計特論	1.2.3(2)		2			1	İ			
1	持続可能環境材料工学特論	1.2.3(2)		2			'	İ			1
	機能性無機材料工学特論	1.2.3(1)		2		1	1	İ			l '
	後能は無機物料エチ特論 ものづくりDXシステム特論	1.2.3(1)		2		'	'	İ			1
	電磁波・光波制御工学特論	1.2.3(1)		2		1	2	İ			l '
	电燃放・元波制脚工子付舗 分子ロボット工学特論	_		2		'	2	١,			
		1.2.3②		_				1			
	結晶工学特論	1.2.3②		2			1	İ			
1	計算材料科学特論	1.2.3①		2			1	İ			
	レーザ加工学特論	1.2.32	ليل	2	H		1	<u> </u>	ليا	Ļ	Ļ
11.0	小計(22科目)	-	0	44	0	12	12	1	0	0	4
社会	★環境・生物機能工学分野										
必	社会環境·生物機能工学輸 講 I	1.2.31	3			13	19				8
修 科	社会環境·生物機能工学輪 講 II	1.2.3②	3			13	19				8
目	研究者倫理	1 • 2 • 3 ① • ②	1	<u> </u>	<u> </u>	13	19				8
	小計(3科目)	-	7	0	0	13	19	0	0	0	8
	防災安全・災害復興学特論	1.2.3①	┌ !	2	Γ I	1		<u> </u>			
	複合材料·構造学特論	1.2.31		2		1	1	İ			
	材料寿命及び余寿命予測特 論	1.2.3②		2		1					
	鋼構造学特論	1.2.32		2		1		İ			
	都市交通計画学特論	1.2.32		2		1		İ			
	国土総合計画学特論	1.2.3②		2			1	İ			
	水圏工学特論	1.2.3(1)		2		2	2	İ			
	環境システム工学特論	1.2.3(2)		2			2	İ			3
	応用地盤解析学特論	1.2.3(1)		2		1	1	İ			
	災害軽減・復興システム学特論	1.2.3①		2		1	1				
	地圏工学特論	1.2.3(2)		2		1		İ			
	地球環境計測工学特論	1.2.3(2)		2			1	İ			
選	生物材料応用工学特論	1.2.3(1)		2			1	ĺ			
掛択	植物遺伝子工学特論	1.2.3(1)		2			1	İ			
科	幹細胞工学特論	1.2.3(1)		2			,	İ			1
目	幹細胞工子符冊 微生物機能利用工学特論	1.2.3(1)		2		1		İ			l '
		1.2.3(2)		2		'	4	İ			
	植物統合工学特論	_				١, ١	1	İ			
	環境応用生化学特論	1.2.3②		2		1		İ			
	野生動物管理工学特論	1.2.3①		2			1	İ			
	糖鎖生命工学特論	1.2.3②		2			1	İ			
	イオンチャンネルと興奮膜	1.2.3②		2		1		İ			
	バイオリファイナリー研究開発	1.2.3②		2				İ			1
	スポーツエ学・ヒューマンダイ ナミクス融合特論	1.2.3②		2							1
	神経機能制御学	1.2.3②		2			1	İ			
	遺伝子工学特論	1.2.3②		2			1				
	小計(25科目)	-	0	50	0	13	16	0	0	0	6
<u> </u>	合計(96科目)	-	28	168	0	46	64	5	0	0	14

卒業要件及び履修方法

履修方法 必修科目7単位を含め42単位(修士課程又は博士前期課程における修得単位30単位を含む)以上修 得しなければならない。

課程の修了 (1) 博士課程を修了するには、大学院に5年(修士課程を修了した者にあっては、当該課程における 2年の在学期間を含む。)以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博 士論文を提出してその審査及び最終試験に合格しなければならない。 (2) 博士論文は、在学期間中に所定の期日までに提出しなければならない。

	_			_			_			_		_
日   一根   ではまり   ではまります   で			1 • 2 • 3(2)		2			1				
構造安全設計特論			1.2.3(2)		2		1					
持続可能環境材料工学特論			_					1				
機能性無機材料工学特論 1・2・3① 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			_									0
世紀のづくりDXシステム特論 1・2・3① 2 1 3 0 1 1 3 0 1 1 3 0 0 1 1 2・3① 2 2 1 1 3 0 0 1 1 2・3② 2 1 1 3 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							1	_				۰
電磁波・光波制御工学特論 1・2・3② 2 1 1 0 1 1 0 1 1 1 0 1 1 1 0 1 1 1 0 1 1 1 0 1 1 1 1 0 1 1 1 1 0 1			_									1
分子口ボット工学特論			_				1	3				
括晶工学特論									0			
計算材料科学特論			_						•			
1・2・3②   2			_									
小計(22科目)			_									
社会環境・生物機能工学輪			-	0		0	12	_	0	0	0	2
必修計計算       1・2・3①       3       14 17 1       5         計算	社会											_
が 計画		社会環境·生物機能工学輪	1-0-01	2			44	47	4			_
計画	必		1.2.3(1)	3			14	17	•			9
小計(3科目) - 7 0 0 14 17 1 0 0 5 5 防災安全・災害復興学特論 1・2・3① 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			1.2.3②	3			14	17	1			5
防災安全・災害復興学特論	目	研究者倫理	1.2.31.2	1			14	17	1			5
複合材料・構造学特論		小計(3科目)	-	7	0	0	14	17	1	0	0	5
材料寿命及び余寿命予測特    1・2・3②   2   1   1   1   1   1   1   1   1   1		防災安全·災害復興学特論	1.2.31		2		1					
論 1・2・3(2) 2 1 1			1.2.3①		2		1	1				
都市交通計画学特論			1.2.3②		2		1					
国土総合計画学特論		鋼構造学特論	1 • 2 • 3 ②		2		1					
水圏工学特論 1・2・3① 2 2 2 3 3 3 応用地盤解析学特論 1・2・3① 2 1 1 0 1 1 2・3① 2 1 1 0 1 1 2・3① 2 1 1 0 1 1 1 2・3① 2 1 1 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		都市交通計画学特論	1.2.3②		2		1					
環境システム工学特論 1・2・3② 2 1 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		国土総合計画学特論	1.2.3②		2			1				
応用地盤解析学特論 災害軽減・復興システム学特論 地域環境計測工学特論 地域環境計測工学特論 は・2・3① 生物材料応用工学特論 1・2・3① を 物細胞工学特論 が変生物機能利用工学特論 1・2・3① を 物機能利用工学特論 1・2・3② を 物機能利用工学特論 1・2・3② で		水圏工学特論	1.2.31		2		2	2				
災害軽減・復興システム学特論       1・2・3①       2       1       0         地圏工学特論       1・2・3②       2       1         地球環境計測工学特論       1・2・3①       2       1         性物選伝子工学特論       1・2・3①       2       1         村間       計・2・3①       2       1         機生物機能利用工学特論       1・2・3②       2       1         機生物機能利用工学特論       1・2・3②       2       1         環境応用生化学特論       1・2・3②       2       1         野生動物管理工学特論       1・2・3②       2       1         精鎖生命工学特論       1・2・3②       2       1         イオンチャンネルと興奮膜       1・2・3②       2       1         バイオリファイナリー研究開発       1・2・3②       2       1         大きクス融合特論       1・2・3②       2       1         神経機能制御学       1・2・3②       2       1         遺伝子工学特論       1・2・3②       2       1         連伝子子学特論       1・2・3②       2       1         連伝子工学特論       1・2・3②       2       1         連伝子工学特論       1・2・3②       2       1         連伝子工学特論       1・2・3②       2       1         連伝子工学を含       1・2・3②       2       1         本体分		環境システム工学特論	1.2.3②		2		1	0				3
論 地圏工学特論 地球環境計測工学特論 は球環境計測工学特論 は物域伝子工学特論 特細胞工学特論 対・2・3① 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		応用地盤解析学特論	1.2.3①		2		1	1				
世球環境計測工学特論 1・2・3② 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			1.2.3①		2		1	0				
選供 生物材料応用工学特論 1・2・3① 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		地圏工学特論	1.2.3②		2		1					
根物遺伝子工学特論		地球環境計測工学特論	1 • 2 • 3 ②		2			1				
計量       計・2・3①       2       1	選	生物材料応用工学特論	1.2.3①		2			1				
日 微生物機能利用工学特論		植物遺伝子工学特論	1.2.3①		2			1				
微生物機能利用工学特論 1・2・3② 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		幹細胞工学特論	1.2.31		2							1
環境応用生化学特論 野生動物管理工学特論 1・2・3② 2 1 糖鎖生命工学特論 イオンチャンネルと興奮膜 バイオリファイナリー研究開発 スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス融合特論 神経機能制御学 1・2・3② 2 1 非金子子運動工学特論 重伝子工学特論 1・2・3② 2 1 までは、アイ・フェー・アン・ダイナミクス配合特論 神経機能制御学 1・2・3② 2 1 までは、アイ・フェー・アン・ダイナミクス配合特論 神経機能制御学 1・2・3② 2 1 までは、アイ・フェー・アン・ダイナミ・アン・ダイナミ・アン・ダイナミ・アン・ダイナミ・アン・ダイナミ・アン・ダイナミ・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・		微生物機能利用工学特論	1.2.3②		2		1					
野生動物管理工学特論     1・2・3①     2     1       糖鎖生命工学特論     1・2・3②     2     1       イオンチャンネルと興奮膜     1・2・3②     2     1       バイオリファイナリー研究開発     1・2・3②     2     1       スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス融合特論     1・2・3②     2     1       神経機能制御学     1・2・3②     2     1       遺伝子工学特論     1・2・3②     2     1       生体分子運動工学特論     1・2・3①     2     1       環境微生物工学特論     1・2・3①     2     1       小計(26科目)     -     0     52     0     14     15     0     0     0     5		植物統合工学特論	1.2.3②		2			1				
糖鎖生命工学特論 1・2・3② 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			1.2.3②		2		1					
イオンチャンネルと興奮膜 バイオリファイナリー研究開発 スポーツエ学・ヒューマンダ イナミクス融合特論 神経機能制御学 遺伝子工学特論 生体分子運動工学特論 環境微生物工学特論 小計(26科目)     1・2・3② 2 2 1 1・2・3② 2 2 1 1・2・3② 2 1 1・2・3① 2 1 1 1・2・3① 2 1 1 1・2・3① 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		野生動物管理工学特論	1.2.3①		2			1				
パイオリファイナリー研究開発     1・2・3②     2     1     1       スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス融合特施 神経機能制御学 遺伝子工学特論     1・2・3②     2     1       遺伝子工学特論     1・2・3②     2     1       生体分子運動工学特論     1・2・3①     2     1       環境微生物工学特論     1・2・3①     2     1       小計(26科目)     -     0     52     0     14     15     0     0     0     5		糖鎖生命工学特論	1.2.3②		2			1				
スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス融合特論     1・2・3②     2     1     1       神経機能制御学     1・2・3②     2     1       遺伝子工学特論     1・2・3②     2     1       生体分子運動工学特論     1・2・3①     2     1       水計(28科目)     -     0     52     0     14     15     0     0     0     5			1.2.3②		2		1					
イナミクス融合特論     1・2・3②     2     1       神経機能制御学     1・2・3②     2     1       遺伝子工学特論     1・2・3①     2     1       生体分子運動工学特論     1・2・3①     2     1       環境微生物工学特論     1・2・3①     2     1       小計(26科目)     -     0     52     0     14     15     0     0     0     5			1.2.3②		2							1
遺伝子工学特論     1・2・3②     2     1       生体分子運動工学特論     1・2・3①     2     1       環境微生物工学特論     1・2・3①     2     1       小計(26科目)     -     0     52     0     14     15     0     0     0     5			1-2-32		2							4
生体分子運動工学特論     1・2・3①     2     1       環境微生物工学特論       小計(26科目)     -     0     52     0     14     15     0     0     0     5			1.2.3②		2			1				
環境微生物工学特論     1・2・3①     2     1       小計(26科目)     -     0     52     0     14     15     0     0     0     5		遺伝子工学特論	1.2.3②		2			1				
小計(26科目) - 0 52 0 14 15 0 0 0 5		生体分子運動工学特論	1.2.3①		2			1				
		環境微生物工学特論	1.2.3①		2			1				
合計(97科目) - 28 166 0 55 65 4 0 0 12	L	小計( <b>26</b> 科目)	-	0	52	0	14	15	0	0	0	5
		合計(97科目)	-	28	166	0	55	65	4	0	0	12

卒業要件及び履修方法

履修方法 必修科目7単位を含め42単位(修士課程又は博士前期課程における修得単位30単位を含む)以上 修得しなければならない。

課程の修了 (1) 博士課程を修了するには、大学院に5年(修士課程を修了した者にあっては、当該課程における 2年の在学期間を含む。)以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博 士論文を提出してその審査及び最終試験に合格しなければならない。 (2) 博士論文は、在学期間中に所定の期日までに提出しなければならない。

【令和5年度】 【令和4年度】 任 任 科目 配当年次 必 選 自 教 准講 助助 科目 配当年次 必 選 自 教 准 講 助 助 授業科目の名称 拇業利日の名称 教 教 舖 舗 エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 1.2.3(1) 1.2.3(1) エネルギー工学輪講Ⅱ エネルギー工学輪講 Ⅱ 15 1.2.3(2) 3 10 11 3 1.2.3(2) 3 8 3 研究者倫理 研究者倫理 ·2·<u>3</u>①·② 1 • 2 • 3 ① • ② 10 11 8 15 目 目 小計(3科目) Ω Λ 10 11 3 0 0 4 小計(3科目) 7 Ω n 8 15 3 0 n 4 7 熱エネルギー工学特論 1.2.3(2) 2 熱エネルギー工学特論 1.2.3(2) 2 1 流体エネルギー工学特論 1.2.3② 流体エネルギー工学特論 1.2.3② 2 2 エネルギー変換・制御工学特 エネルギー変換・制御工学特 1.2.3② 2 2 1.2.3② 2 1 3 パワーエレクトロニクス・メカト パワーエレクトロニクス・メカト 1.2.31 2 0 1.2.31 2 2 ロニクス工学特論 ロニクス工学特論 電気化学エネルギー工学特論 1.2.31 電気化学エネルギー工学特論 1.2.31 2 2 超電導材料工学特論 超電導材料工学特論 1.2.32 2 1.2.32 2 環境発電セラミック材料工学 環境発電セラミック材料工学 1.2.31 1.2.3(1) 2 0 2 特論 特論 エネルギー変換材料工学特論 1.2.3(2) エネルギー変換材料工学特論 1 • 2 • 3(2) 2 2 脱炭素システム特論 脱炭素システム特論 1.2.3(2) 1.2.3(2) 科 2 科 2 プラズマ・核融合工学特論 1.2.31 2 プラズマ・核融合工学特論 1.2.3(1) 2 高エネルギー密度プラズマ物 高エネルギー密度プラズマ物 1.2.31 2 0 1.2.31 2 O 性工学特論 性工学特論 原子カエネルギーマネジメン 原子カエネルギーマネジメン 1.2.3(1) 2 1.2.3(1) 2 ト特論 ト特論 応用核化学 1.2.3(1) 2 応用核化学 1.2.3(1) 2 1 環境放射能特論 1.2.3(2) 2 環境放射能特論 1.2.3(2) 2 1.2.31 火災・爆発安全特論 2 火災·爆発安全特論 1.2.3(1) 生体材料工学特論 1.2.31 生体材料工学特論 1.2.31 小計(16科目) 0 32 0 9 8 0 0 0 小計(16科目) 0 32 0 0 0 0 7 11 情報・制御工学分野 情報・制御工学分野 1.2.3(1) 情報·制御工学輪講 I 情報·制御工学輪講 I 1.2.3(1) ıŸ, 3 0 必 情報・制御工学輪講Ⅱ 1.2.3(2) 3 18 17 0 情報·制御工学輸講 Ⅱ 1.2.3(2) 3 18 16 0 1 研究者倫理 ·2·3①·② 18 17 0 研究者倫理 -2-31-2 18 16 Ħ B 0 0 小計(3科目) 0 0 0 0 0 小計(3科目) 7 0 0 0 7 16 1 計算機工学特論 1.2.31 2 計算機工学特論 1.2.31 2 有限要素解析特論 1.2.3(2) 有限要素解析特論 1.2.3(2) 非線形システム設計特論 1.2.31 2 非線形システム設計特論 1.2.31 2 カオス・フラクタル情報数理工学特論 カオス・フラクタル情報数理工 2 2 1.2.3(1) 1.2.3(1) 学特論 情報回路工学特論 1.2.3② 1.2.32 2 情報回路工学特論 2 非線形光学特論 1 • 2 • 3(2) 非線形光学特論 2 2 1.2.3(2) 2 2 信号画像処理特論 1.2.3(1) 2 信号画像奶理特論 1.2.3(1) 2 招精密計測工学特論 1.2.3(1) 2 超精密計測工学特論 1.2.3(1) 2 1 システム制御工学特論 1 • 2 • 3(2) 2 0 システム制御工学特論 1 • 2 • 3(2) 2 0 フィードフォワード制御特論 1.2.31 2 フィードフォワード制御特論 1.2.31 2 データマネジメント特論 1.2.32 データマネジメント特論 1.2.32 科 超精密加工工学特論 1.2.32 2 超精密加工工学特論 1.2.32 2 機械要素設計工学特論 1.2.3(2) 機械要素設計工学特論 1.2.3(2) 2 2 機械・環境系設計工学特論 機械・環境系設計工学特論 1.2.3(1) 2 1.2.3(1) 2 1 人間·社会·産業情報学特論 人間·社会·産業情報学特論 1.2.3(2) 2 1.2.3(2) 2 1 経営戦略特論 1.2.3(1) 2 経営戦略特論 1.2.3(1) 2 社会情報学特論 1.2.31 2 0 社会情報学特論 1.2.3(1) 2 1 0 情報数理応用工学特論 1.2.31 2 情報数理応用工学特論 1.2.31 2 2 生体医工学特論 1.2.31 2 生体医工学特論 1.2.31 2 2 2 ネットワークシステム特論 1 • 2 • 3(2) 2 ネットワークシステム特論 1.2.3② 2 脳·生体情報工学特論 1.2.3(1) 脳·生体情報工学特論 1.2.3(1) 小計(21科目) 小計(21科目) 0 0 42 0 0 42 0 0 材料工学分野 材料工学分野 材料工学輪講I 1.2.3(1) 12 材料工学輪講I 1.2.3(1) 12 15 3 必 必 材料工学輪講Ⅱ 1.2.3(2) 3 12 15 材料工学輪講Ⅱ 1.2.3(2) 3 12 15 研究者倫理 -2-3①-② 12 研究者倫理 -2-31-2 12 15 15 Ħ Ħ 0 小計(3科目) 0 0 小計(3科目) 0 12 0 0 0 12 15 0 先端材料創製工学特論 1.2.31 先端材料創製工学特論 1.2.31 2 応用非破壊材料評価特論 応用非破壊材料評価特論 1.2.31 2 1.2.3(1) 2 回折物理学特論 回折物理学特論 1.2.3(2) 1.2.3(2) 2 2 無機構造材料工学特論 2 無機構造材料工学特論 2 1.2.3(2) 2 0 1.2.3(2) 2 1 0 精密分子設計特論 I 1.2.3(1) 2 精密分子設計特論 I 1.2.3(1) 2 精密分子設計特論 Ⅱ 1.2.3(1) 2 精密分子設計特論 Ⅱ 1.2.3(1) 2 有機機能材料工学特論 1 • 2 • 3(2) 2 有機機能材料工学特論 1 • 2 • 3(2) 2 有機固体化学特論 1.2.3② 2 有機固体化学特論 1.2.3② 2 機能材料工学特論 1.2.31 機能材料工学特論 1.2.31 2 1 材料物性学特論 1.2.32 2 材料物性学特論 1.2.32 2 光デバイス工学特論 1.2.3(2) 2 光デバイス工学特論 1.2.3(2) 2 エレクトロセラミックス工学特 エレクトロセラミックス工学特 1.2.3(2) 2 1 • 2 • 3(2) 2 科目 論 科目 破壊予測工学特論 破壊予測工学特論 1 • 2 • 3(2) 2 1 • 2 • 3(2) 2 構诰安全設計特論 構造安全設計特論 1 - 2 - 3(2) 2 1.2.3(2) 2 持続可能環境材料工学特論 持続可能環境材料工学特論 1.2.3(2) 2 1.2.3(2) 2 機能性無機材料工学特論  $1 \cdot 2 \cdot 3 \textcircled{1}$ 機能性無機材料工学特論  $1 \cdot 2 \cdot 3 \textcircled{1}$ 

	分子ロボット工学特論 結晶工学特論	1.2.32		2			1	0			
	計算材料科学特論	1.2.3①		2			1				
	レーザ加工学特論 小計(22科目)	1.2.3②	0	2	0	12	13	0	0	0	4
차수	小司(22付日)  :環境・生物機能工学専攻		U	44	U	12	13	U	U	U	4
111	社会環境·生物機能工学輪										_
必	講 I	1.2.3①	3			14	19	1			5
修科	社会環境·生物機能工学輪 講Ⅱ	1.2.3②	3			14	19	1			5
目	研究者倫理	1 • 2 • 3 ① • ②	1			14	19	1			5
	小計(3科目)	-	7	0	0	14	19	1	0	0	5
	防災安全·災害復興学特論	1.2.3①		2		1					
	複合材料·構造学特論	1.2.31		2		1	1				
	材料寿命及び余寿命予測特 論	1.2.3②		2		1					
	鋼構造学特論	1 • 2 • 3 ②		2		1					
	都市交通計画学特論	1.2.3②		2		1					
	国土総合計画学特論	1.2.3②		2			1				
	水圏工学特論	1.2.3①		2		2	2				
	環境システム工学特論	1.2.3②		2		1	0				3
	応用地盤解析学特論	1.2.3①		2		1	1				
	災害軽減・復興システム学特論	1.2.31		2		1	1				
	地圏工学特論	1 • 2 • 3(2)		2		1					
	地球環境計測工学特論	1.2.3(2)		2			1				
選	生物材料応用工学特論	1.2.3①		2			1				
択	植物遺伝子工学特論	1.2.31		2			1				
科日	幹細胞工学特論	1.2.31		2							1
п	微生物機能利用工学特論	1 • 2 • 3 ②		2		1					
	植物統合工学特論	1 • 2 • 3 ②		2			1				
	環境応用生化学特論	1.2.3②		2		1					
	野生動物管理工学特論	1.2.31		2			1				
	糖鎖生命工学特論	1 • 2 • 3 ②		2			1				
	イオンチャンネルと興奮膜	1 • 2 • 3 ②		2		1					
	バイオリファイナリー研究開発	1.2.3②		2							1
	スポーツ工学・ヒューマンダイナミ クス融合特論	1.2.3②		2							1
	神経機能制御学	1.2.3②		2			1				
	遺伝子工学特論	1.2.3②		2			1				
	生体分子運動工学特論	1-2-3①		2			1				
	環境微生物工学特論	1-2-3①		2			1				
	小計(27科目)	_	0	54	0	14	16	0	0	0	6

卒業要件及	び履信	多方法

# 履修方法

版 | P/J/A 必修科目7単位を含め42単位(修士課程又は博士前期課程における修得単位30単位を含む)以上修 得しなければならない。

課程の修 5 (1) 博士課程を修了するには、大学院に5年(修士課程を修了した者にあっては、当該課程における 2年の在学期間を含む。)以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文を提出してその審査及び最終試験に合格しなければならない。 (2) 博士論文は、在学期間中に所定の期日までに提出しなければならない。

ものづくりDXシステム特論     1・2・3①     2       電磁波・光波制御工学特論     1・2・3②     2     1       分子ロボット工学特論     1・2・3②     2     1       結晶工学特論     1・2・3②     2     1		1
分子ロボット工学特論 1・2・3② 2 1 0		
┃ │結晶工学特論     ┃ 1・2・3② ┃   ┃ 2 ┃          1		
計算材料科学特論 1·2·3① 2 1 1		
レーザ加工学特論 1・2・3② 2 1		
小計(22科目)	0	4
社会環境・生物機能工学専攻		
社会環境・生物機能工学輪 1・2・3① 3 13 20 1 13 20 1		5
修 社会環境・生物機能工学輪     1・2・3②     3     13     20     1		5
H   研究者倫理		5
小計(3科目) - 7 0 0 13 20 1 0	0	5
防災安全・災害復興学特論 1・2・3① 2 1		
複合材料・構造学特論 1・2・3① 2 1 1 1		
材料寿命及び余寿命予測特 論 1・2・3② 2 1		
鋼構造学特論 1・2・3② 2 1		
都市交通計画学特論 1・2・3② 2 1 1		
国土総合計画学特論 1・2・3② 2 2 1 1		
水圏工学特論 1・2・3① 2 2 2		
環境システム工学特論 1・2・3② 2 2 2		3
応用地盤解析学特論 1·2·3(1) 2 1 1 1		_
災害経滅・復興システム学特 1・2・3① 2 1 1 1		
地圏工学特論 1・2・3(2) 2 1 1		
地球環境計測工学特論 1・2・3② 2 1		
選 生物材料応用工学特論 1・2・3① 2 1		
択 植物造伝子工学特論 1・2・3① 2 1		
科教师的工学性验		1
目   軒 和 旭 工 字 符 語		· ·
植物統合工学特論 1・2・3② 2 1		
環境応用生化学特論 1・2・3② 2 1		
野生動物管理工学特論 1.2.3① 2 1		
新鎖生命工学特論 1・2・3② 2 1 1		
補頭生叩工子行論		
イオンテャンネルと英書族   1・2・3②   2   1   1   1   1   1   1   1   1   1		1
フポーツエ学・ヒューマングイナミ		l '
クス融合特論 1・2・3(型) 2 2 2 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		1
神経機能制御学 1・2・3② 2 1		
遺伝子工学特論 1・2・3② 2 1 1		
小計(25科目) - 0 50 0 13 16 0 0	0	6
合計(96科目) - 28 168 0 <b>51 66</b> 5 0	0	15
卒業要件及び履修方法		

#### 履修方法

版修列目7単位を含め42単位(修士課程又は博士前期課程における修得単位30単位を含む)以上 修得しなければならない。

#### 課程の修了

課程の修 5 (1) 博士課程を修了するには、大学院に5年(修士課程を修了した者にあっては、当該課程における 2年の在学期間を含む。)以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博 士論文を提出してその審査及び最終試験に合格しなければならない。 (2) 博士論文は、在学期間中に所定の期日までに提出しなければならない。

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を
  黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
  ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  ・ 7要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
  ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
  ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
  ・ 特定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に〔新〕又は(旧)と追記してください。
  (例:記載順) 【認可時又は届出時】→【令和6年度】(新)→【令和5年度】(前)→【令和3年度】→【令和6年度】(日)→【令和5年度】(旧)

#### 【令和4年度】

▲ **ウ科 4 平 長』**・教員の採用および所属変更により、「エネルギー工学輪講Ⅰ、エネルギー工学輪講Ⅱ、研究者倫理」の専任教員等の配置を「教授8、准教授15、兼任・兼担5」から「教授8、准教授
15、講師3、兼任・兼担4」に変更。
・授業分担の見直しにより、「エネルギー変換・制御工学特論」の専任教員等の配置を「准教授1、兼任・兼担1」から「准教授3、兼任・兼担1」に変更。
・授業分担の見直しにより、「パワーエレクトロニクス・メカトロニクス工学特論」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、兼任・兼担1」から「教授2、准教授1、兼任・兼担1」に

。 ・教員の所属変更により、「高エネルギー密度プラズマ物性工学特論」の専任教員等の配置を「准教授I」から「兼任・兼担1」に変更。 ・教員の退職および昇任により、「情報・制御工学輪講Ⅰ、情報・制御工学輪講Ⅱ、研究者倫理の専任教員等の配置を「教授13、准教授17、講師1、兼任・兼担1」から「教授18、准教 ・教員の退職および昇任により、「情報・制御工学輪講 I、情報・制御工学輪講 I、研究者倫理の専任教員等の配置を「教授13、准教授17、講師1、兼任・兼担1」から「教授18、准教授16、兼任・兼担1」に変更。
・教員の昇任により、「非線形光学特論」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2」から「教授2、准教授1」に変更。
・教員の昇任により、「書籍の事任教員等の配置を「推教授2」から「教授2、推教授1」に変更。
・教員の昇任により、「信号画像処理特論」の専任教員等の配置を「推教授2」から「教授1、准教授1」に変更。
・授業分担の見直しにより、「人間・社会・産業情報学特論」の専任教員等の配置を「推教授2、講師1」から「教授1、准教授1」から「教授1、企変更。
・授業分担の見直しにより、「人間・社会・産業情報学特論」の専任教員等の配置を「教授2、講師1」から「教授1、准教授1」に変更。
・授業分担の見直しにより、「社会情報学特論」の専任教員等の配置を「推教授2、講師1」から「教授1、准教授1」に変更。
・授業分担の見直しにより、「情報数理応用工学特論」の専任教員等の配置を「推教授2、講師1」から「教授1、准教授2」に変更。
・授業分担の見直しにより、「情報数理応用工学特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、准教授2」に変更。
・授業分担の見直しにより、「情報要に対験1、成務2」に変更。
・授業分担の見直しにより、「情報要に対験1、成務2」、「本教授2」に変更。
・授業分担の見直しにより、「情報要に対験1、「生物を1」があり、教授1、推教授2」に変更。

・教員の採用、昇任および所属変更により、「材料工学輪講I、材料工学輪講I、研究者倫理」の専任教員等の配置を「教授12、准教授13、講師4、兼任・兼担7」から「教授12、准教授15、講師1、兼任・兼担4」に変更。
・教員の所属変更により、「無機構造材料工学特論」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、兼任・兼担1」から「教授1、兼任・兼担2」に変更。
・教員の退職により、「機能材料工学特論」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、兼任・兼担1」から「教授1、准教授1」に変更。
・授業分担の見直しにより、「電磁波・光波制御工学特論」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2」から「教授1、准教授3」に変更。
・教員の昇任により、「可能滅波・光波制御工学特論」の専任教員等の配置を「推教授1」がの「教授1、定変更。
・教員の採用および昇任により、「分子ロボット工学特論」の専任教員等の配置を「推教授1」から「教授1」に変更。
・教員の採用および昇任により、「社会環境・生物機能工学輪講I、社会環境・生物機能工学輪講I、研究者倫理」の専任教員等の配置を「教授13、准教授19、兼任・兼担8」から「教授13、准教授20、講師1、兼任・兼担5」に変更。

【令和5年度】

・教員の昇任および退職により、「エネルギー工学輪請 I 」、「エネルギー工学輪講I 」、「研究者倫理」の専任教員等の配置を「教授8、准教授15、講師3、兼任・兼担4」から「教授10、准教授11、講師3、兼任・兼担4」に変更。
・授業分担の見直しにより、「エネルギー変換・制御工学特論」の専任教員等の配置を「教授3、兼任・兼担1」から「教授2、兼任・兼担1」に変更。
・授業分担の見直しにより、「バワーエレクトロニクス・メカトロニクスエ学特論」の専任教員等の配置を「教授2、推教授1、兼任・兼担1」に変更。
・教員の昇任により、「「プローエクス・メカトロニクスエ学特論」の専任教員等の配置を「教授2、推教授1、兼任・兼担1」から「教授2、推教授1」に変更。
・教員の昇任により、「環境発電セラミック材料工学特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
・教員の採用、昇任および退職により、「情報・制御工学輪講I」、「情報・制御工学輪講I」、「研究者倫理」の専任教員等の配置を「教授18、准教授16、兼任・兼担1」から「教授18、推教授17、講師1」に変更。
・授業分担の見直しにより、「力オス・フラクタル情報数理工学特論」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「准教授1」に変更。
・教員の昇任により、「力オス・フラクタル情報数理工学特論」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「准教授1」に変更。
・教員の昇任により、「社会環境・生物機能工学輪講I」、「研究者倫理」の専任教員等の配置を「教授13、准教授20、講師1、兼任・兼担5」に変更。
・授業分担の見直しにより、「理境システム工学特論」の専任教員等の配置を「准教授2、兼任・兼担3」から「准教授1、兼任・兼担3」に変更。
・授業分担の見直しにより、「環境システム工学特論」の専任教員等の配置を「准教授2、兼任・兼担3」から「准教授1、兼任・兼担3」に変更。

【**令和6年度】** 教員の退職及び昇任により「エネルギー工学輪講Ⅰ、エネルギー工学輪講Ⅱ、研究者倫理」の専任教員等の配置を「教授10、准教授11、講師3、兼任・兼担4」から「教授10、准教授 15、講師1、兼任・兼担4」に変更。 ・教員の退職及び昇任により「情報・制御工学輪講Ⅰ」、「情報・制御工学輪講Ⅱ」、「研究者倫理」の専任教員等の配置を「教授18、准教授17、講師1」から「教授19、准教授19、諸

師1」に変更。

- 即1]「交更。 ・教員の現任により「有限要素解析特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。 ・教員の現在により「情報回路工学特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、准教授1」に変更。 ・教員の退職により「人間・社会・産業情報学特論」の専任教員等の配置を「教授1、准教授3」から「教授1、准教授2」に変更。 ・授業分担の見直しにより「社会情報学特論」の専任教員等の配置を「教授1、准教授3」から「教授1、准教授1、講師1」に変更。 ・授業分担の見直しにより「生体医工学特論」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2」から「教授1、准教授3」に変更。 ・授業分担の見直しにより「生体医工学特論」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2」から「教授1、准教授3」に変更。 ・教員の退職により「材料工学輪講Ⅰ」、「材料工学輪講Ⅱ」、「研究者倫理」の専任教員等の配置を「教授12、准教授15、兼任・兼担4」から「教授12、准教授14、兼任・兼担3」に

変更。
・授業分担の見直し及び教員の退職により「無機構造材料工学特論」の専任教員等の配置を「教授!、兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。
・授業分担の見直しにより「機能材料工学特論」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授1」に変更。
・授業分担の見直しにより「材料物性学特論」の専任教員等の配置を「推教授1」から「教授1」に変更。
・授業分担の見直しにより「持続市程環境材料工学特論」の専任教員等の配置を「推教授1」に変更。
・教員の退職により「持続市程環境材料工学特論」の専任教員等の配置を「推教授1」に変更。
・教員の退職により、「社会環境・生物機能工学輪講 I」、「社会環境・生物機能工学輪講 I」、「研究者倫理」の専任教員等の配置を「教授14、准教授19、講師1、兼任・兼担5」から「教授14、准教授17、講師1、兼任・兼担5」に変更。
・教員の退職により「災害軽減・復興システム学特論」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授1」に変更。
・教員の退職及び教育課程の見直しにより「原子カエネルギーマネジメント特論」、「火災・爆発安全特論」、「経営戦略特論」「スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス融合特論」

・教育課程の見直しにより「イオンビーム工学特論」を追加。

- (注)・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更
  - ・ 2 (1) 一切 授集科目表に記入されに合本度における変更内容(配当年次の変更、存在教員寺の配画の変更、 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。 ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。 ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

#### (2) 授業科目数

	設置時	の計画			変更	状況		備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	) 川 方
12 科目	84 科目	0 科目	96 科目	12 科目 [ 0 ]	85 科目 [ 1 ]	0 科目 [ 0 ]	97 科目 [ 1 ]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)
   指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

# (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	原子力エネルギーマネジメント特論	2	1 • 2 • 3①	専門	選択	教育課程の見直しによる廃止
2	火災・爆発安全特論	2	1 • 2 • 3①	専門	選択	教育課程の見直しによる廃止
3	経営戦略特論	2	1 • 2 • 3①	専門	選択	教育課程の見直しによる廃止
4	スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス融合特論	2	1 • 2 • 3②	専門	選択	教育課程の見直しによる廃止

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

選択科目であり、	履修上の問題は生じていない。学生には履修案内にて周知。

(注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。 (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計 設置時の計画の授業科目数の計(A) 4.16 %

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

# 3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分					内	]					容				備考
(1)		区	分			専	用		共	用		共用する 学校等の				計		
+*		校쇩	- 敷 均	<u>t</u>		24	12, 155	mi		0	mi			m²		242, 155	m²	
校		運動	場用地	!		ę	2, 712	m <sup>†</sup>		0		0 m²			92, 712	m²		
地		小	計	+		33	84, 867	mi	0 m²				0	m <sup>*</sup>		334, 867	m²	
等		そ	の他	ļ	42, 617 m²			mi		0	m²		0	m²		42, 617	m <sup>*</sup>	
J		合	計	+	377, 484 m²			mÎ		0	m²	U m -b :	0	m <sup>‡</sup>		377, 484	m <sup>*</sup>	
					専 用				共	用		共用する 学校等の				計		
(2) 校				mi		0	m <sup>‡</sup>		0	mi	94, 88	3 90, 704	m <sup>*</sup>	建物の新築等による (6)				
	(90, 704 m²)				(	0 m	) (		0 m <sup>2</sup> .	)	(90,	704 m <sup>2</sup> )						
				講	義	室	演	習	室	実験:	実習室		処理学習		語為	学習施記		使用区別変更に伴う増
(3) 教	3) 教 室 等 40 39 36 室 43 46 47				47 室	646 701 <del>7</del>	17 833 ]	室	1 10 11		/ <del>                                     </del>		室	減 (6) (5) (4)				
	÷r =0.24.÷n				+ + r + + /	D 夕 牡			(補助	加職員 安	人)	(補助	職貝	人)	1.34.0.11			
(4) 専	事任教員研究室 新設学部 							ξī τ <i>k</i> τ		室  193 188 199 197					室	大学全体 使用区別変更に伴う増減 <mark>(6)</mark> (5) (4)		
	工学研究科 5				術雑言		F-X			133 100 107				<u> </u>	(3) (3) (4)			
(5)		i設学的			カー ち外国	_		ち外国	-	電子ジ	ャーナル				器具	標	本	
, _ ,		の名和	<b></b>			 ∰			種 〔うち外国			:〕 点			点点			
-				171, 90	00 [67,	000)	12, 300	(10,					1, 500		0		0	大学全体
図		学研究			65 [63,			[7, 6	635] 6, 121 (6, 114) 1, 482						購入及び廃棄等に伴			
<b>書</b>	先如	端工学	専攻	167, 1	<del>29 (65,</del> 22 (64,	690)	9, 854	<del>[7,</del> 8	(-810)     6, 293 [6, 289]     1, 467       (-806)     6, 291 [6, 287]     1, 633   (0)						開入及び提案等に円 う増減 <mark>(6)</mark> (5) (4)			
設備					7 <del>2 (64,</del> 00 (67,				7, 837) (6, 337 (6, 333) (1, 380) 10, 200) 8, 800 (8, 750) 1, 500 0					0				
P/15		=1			65 [63,		12, 300 9, 679	) [10, ) [7, 6		6, 121 (			1, 500 1, 482		U		U	
		計		168, 4 167, 1	<del>29 (65,</del> 2 <del>2 (64,</del>	118) 690)	9, 85	<del>[7, 8</del>   <del>[7, 8</del>	10)	6, 293	6, 289) 6, 287)		1, 467 1, 633	(0	)	(0)		
				(166, 6	7 <u>2 (64,</u>	988) )	<del>(9, 903</del>	3 [7, 8	37) )		<del>(6, 333) )</del>		(1, 380)	, ét .	=T 4h	m *h		
(6) 図	i i	書	館		面		積  3 15	9 m <sup>2</sup>			座 席 数 	.55 <del>30</del> 9	-	C TRY	HJ 用E	冊 数	000	大学全体
					面			J 111			体育館以			記の概	要	131	, 000	配置換えに伴う減
(7) 体	ī	育	館		ш	2.715 😅 野球場、テニスコー							屋内プ	ール、		ニングルー	_	大学全体
							省場 完成年原	度 区	分	開設	ム、弓 前年度	道場 開設:	年度	完成年	度	XIII		
(8)			教員 1	人当り	研究費	等	— <b></b>	-	_ <del>1</del>		<b>書購入費</b>		- 千円		千円	_	千円	
経費の 積り及	)兄	積り	共 同	研 3	克 費	等	<b>—</b> Ŧ	円	_ <del>1</del>	千円 設備	購入費	<del> </del>	- 千円	_	千円	_	千円	
維持方の概	方法 学生1人当 第1年次 第2年次			次	第	3 年次	第 4	年次	第	5年次		第6年次	ζ					
1470	^	納付			_ <del>1</del>	-円	_	千円		— 千円	-	- 千円		<b>—</b> т	円	_	千円	
		学生	納付金	以外の	維持方法	去の概要	要		•		•		•					

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、<u>その他の</u> 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
  - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ <u>昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正</u>するとともに、 その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において<mark>赤字で見え消し</mark>した部分については、<u>見え消しのまま黒字にしてください</u>。

- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	長岡技	支術 科:	学 大 学								収容定員充足 率0.7倍以下の 学科数 収容定員充足 率1.15倍以上 の学科数
既設学部等の名称	修業年限	入学 定員	編入学定員	収容 定員	学位又 は称号	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	定員変 年度 (AC期 の学科 み)	開設	所在地	備考
	年	人	年次 人	人		倍	17	年 年	年度 年度		
<学士課程>											
工学部											
工学課程	4	80	3 年次 340	1000	学士	1.14	-	令和6	令和4	新潟県長岡市 上富岡町1603-1	※ 3年次編入学定員のみ変更
機械創造工学課程	4	-	3年次	-	学士 (工学)	-	-		平成12	同上	令和4年学生募集停止
電気電子情報工学課程	4	_	3年次	_	学士	-	-		平成12	同上	令和4年学生募集停止
物質材料工学課程	4	-	3年次	-	学士 (工学)	-	-		昭和52	同上	令和4年学生募集停止
環境社会基盤工学課程	4	_	3年次	_	学士	-	-		平成27	同上	令和4年学生募集停止
生物機能工学課程	4	_	3年次	_	学士	-	-		平成元	同上	令和4年学生募集停止
情報・経営システム工学課程	4	-	3年次	-	学士	-	-		平成12	同上	令和4年学生募集停止
学部全体	-	80	3 年次 340	1000		-	-	_	_	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。) について、既に設置している学部等 (短期大学、高等専門学校にあっては学科等) の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(<u>大学院、専攻科及び別科を除く</u>)。

  - なお、本<u>調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません</u>。 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「一」とした上で、「非表示」設定としてください。

  - ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
  - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
  - 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度ACの対象となる学部等については、<u>必ず下線を引いてください</u>。
  - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)Ⅳ.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
  - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」 第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「一」としてください。

  - ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。 また、<u>0.7倍以下又は1.15倍以上の**学科**については、**必ず太字にしてください**。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。</u>

  - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載の コメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

### 5 教員組織の状況

#### <工学研究科 先端工学専攻>

氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等

担当授業科目名

<令和4年4月> 博士(工学)

エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I エネルギー変換材料工学特論 研究者倫理

> 大石 潔 <令和4年4月> 博士(工学)

エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I パワーエレクトロニクス・メカ トロニクス工学特論 研究者倫理

> 門脇 敏 <令和4年4月> 博士(工学)

河合 晃 <令和4年4月> 博士(工学)

北谷 英嗣 <令和4年4月> 博士(理学)

塩野谷 明 <令和4年4月> 博士(工学)

スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス融合特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I

> 本多 元 <令和4年4月> 博士(理学)

研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 II

> 城所 俊一 <令和4年4月> 理学博士

研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 Ⅱ

エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 II 火災・爆発安全特論 研究者倫理

機能材料工学特論 研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 II

研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 II

### (1) 一① 担当教員表

<b>7</b> ≑श = 10	ヰヮゖ	·居出時】

職名

教授 (工 専 学研 完)

専任・

兼担 兼任 の別

兼担 講師

専 教授

専 教授

専 教授

専 教授

専 教授

教授

LTIA	114年	度】	[ -	令和5年	度】	【令	和6年/	<b>隻</b> 】
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専日 兼担 兼日 の別	1 -	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任 兼担 兼任 の別		氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		武田 雅敏			武田 雅敏			武田 雅敏
	教授	<令和4年4月> 博士(工学)		教授			教授	<令和4年4月> 博士(工学)
専	学研究科長)	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I エネルギー変換材料工学特 論 研究者倫理	Ę		エネルギー工学輪講Ⅰ	専	(工学 研究科 長)	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I エネルギー変換材料工学特 論 研究者倫理
*	*/ <sub>1</sub> +==	大石 潔 <令和4年4月> 博士(工学)						
•	教授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I パワーエレクトロニクス・ メカトロニクス工学特論 研究者倫理						
		門脇 敏 <令和4年4月> 博士(工学)			門脇 敏 <令和4年4月> 博士(工学)			
専	教授	エネルギー工学輸講 I エネルギー工学輸講 I 火災・爆発安全特論 研究者倫理	Ē	<b>科授</b>	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 火災・爆発安全特論 研究者倫理			
		塩野谷 明 <令和4年4月> 博士(工学)			塩野谷 明 <令和4年4月> 博士(工学)			
専	教授	スポーツ工学・ヒューマン ダイナミクス融合特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 講 I 社会環境・生物機能工学輪 講 I	É	<b>教授</b>	スポーツ工学・ヒューマン ダイナミクス融合特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 講 I 社会環境・生物機能工学輪 講 I			
		本多 元 <令和4年4月> 博士(理学)			本多 元 <令和4年4月> 博士(理学)			
専	教授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 講 I 社会環境・生物機能工学輪 講 I	Ē	乳 教授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 講 I 社会環境・生物機能工学輪 講 I			
		城所 俊一 <令和4年4月> 理学博士			城所 俊一 <令和4年4月> 理学博士			
専	教授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 請 I 社会環境・生物機能工学輪 請 I	草	教授				

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	3	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名			担当授業科目名
		井原 郁夫			井原 郁夫	-			井原 郁夫			井原 郁夫
専	教授	<令和4年4月> 博士(工学) 応用非破壊材料評価特論 研究者倫理	専	教授	<令和4年4月> 博士(工学) 応用非破壊材料評価特論 研究者倫理		専	教授	<令和4年4月> 博士(工学) 応用非破壊材料評価特論 研究者倫理	専	教授	<令和4年4月> 博士(工学) 応用非破壊材料評価特論 研究者倫理
		材料工学輪講Ⅱ 材料工学輪講Ⅲ			材料工学輪講 I 材料工学輪講 I				材料工学輸講Ⅰ材料工学輸講Ⅱ			材料工学輸講Ⅰ材料工学輸講Ⅱ
専	教授	竹中 克彦  <令和4年4月> 博士(工学)  研究者倫理	専	教授	竹中 克彦  <令和4年4月> 博士(工学)  研究者倫理		専	教授	竹中 克彦 < 令和4年4月 > 博士(工学) 研究者倫理	専	教授	竹中 克彦 < 令和4年4月 > 博士(工学) 研究者倫理
		材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 精密分子設計特論 I			材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 精密分子設計特論 I	-			材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 精密分子設計特論 I			材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 精密分子設計特論 I
		大塚 悟			大塚 悟				大塚 悟			大塚 悟
		<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)		_		<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
· 専	教授	応用地盤解析学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輸講 I 社会環境・生物機能工学輸講 I	専	教授	応用地盤解析学特論 研究者倫理 社会環境·生物機能工学輪 請I 社会環境·生物機能工学輪 請I		専	教授	応用地盤解析学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 請I 社会環境・生物機能工学輪 請I	専	教授	応用地盤解析学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 請I 社会環境・生物機能工学輪 請I
		明田川 正人			明田川 正人				明田川 正人			明田川 正人
		<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専	教授	研究者倫理 情報·制御工学輪講 I 情報·制御工学輪講 I 超精密計測工学特論	専	教授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 超精密計測工学特論		専	教授	研究者倫理 情報·制御工学輪講 I 情報·制御工学輪講 I 超精密計測工学特論	専	教授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 超精密計測工学特論
		原 信一郎			原 信一郎				原信一郎			原信一郎
		<令和4年4月> 博士(理学)			<令和4年4月> 博士(理学)				<令和4年4月> 博士(理学)			<令和4年4月> 博士(理学)
専	教授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 情報数理応用工学特論	専	教授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 情報数理応用工学特論		専	教授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 情報数理応用工学特論	専	教授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 情報数理応用工学特論
		阿部 雅二朗			阿部 雅二朗				阿部 雅二朗			阿部 雅二朗
		<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専	教授	機械・環境系設計工学特論 研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I	専	教授	機械・環境系設計工学特論 研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I		専	教授	機械・環境系設計工学特論 研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I	専	教授	機械・環境系設計工学特論 研究者倫理 情報・制御工学輪請 I 情報・制御工学輪講 I
		陸 旻皎			陸一旻皎				陸一旻皎			陸一旻皎
		<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専	教授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輸講 I	専	教授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 講 I		専	教授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 講 I	専	教授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輸 講 I
		社会環境・生物機能工学輸講 II 水圏工学特論			社会環境・生物機能工学輪 講 II 水圏工学特論				社会環境・生物機能工学輪 講Ⅱ 水圏工学特論			社会環境・生物機能工学輪 講 II 水圏工学特論
		滝本 浩一			滝本 浩一				滝本 浩一			滝本 浩一
		<令和4年4月> 理学博士			<令和4年4月> 理学博士				<令和4年4月> 理学博士			<令和4年4月> 理学博士
専	教授	イオンチャンネルと興奮膜 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輸講Ⅰ 社会環境・生物機能工学輸講Ⅱ	専	教授	イオンチャンネルと興奮膜 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 請 I 社会環境・生物機能工学輪 請 I		専	教授	イオンチャンネルと興奮膜 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 請 I 社会環境・生物機能工学輪 請 I	専	教授	イオンチャンネルと興奮膜 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 請 I 社会環境・生物機能工学輪 請 I
		高橋 勉 <令和4年4月> 博士(工学)			高橋 勉 <令和4年4月> 博士(工学)				高橋 勉 <令和4年4月> 博士(工学)			高橋 勉 <令和4年4月> 博士(工学)
専	教授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 流体エネルギー工学特論	専	教授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 流体エネルギー工学特論		専	教授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 流体エネルギー工学特論	専	教授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 流体エネルギー工学特論

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任 兼担 兼任 の別	•	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名	1			担当授業科目名			担当授業科目名
		李 志東			李 志東	1			李 志東			李 志東
		<令和4年4月> 博士(経済学)			<令和4年4月> 博士(経済学)				<令和4年4月> 博士(経済学)			<令和4年4月> 博士(経済学)
専	教授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 脱炭素システム特論	専	教授	教授 エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I ボルギー工学輪講 I 研究者倫理 脱炭素システム特論 脱炭素システム特論		専	教授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 脱炭素システム特論			
		江 偉華  <令和4年4月> 博士(工学)			江 偉華  <令和4年4月> 博士(工学)				江 偉華  < 令和4年4月 >  博士(工学)			江 偉華  <令和4年4月>  博士(工学)
専	教授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理	専	教授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理		専	教授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理	専	教授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理
		松原 浩			松原 浩				松原 浩			松原 浩
		<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専	教授	機能材料工学特論 研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I	専	教授	機能材料工学特論 研究者倫理 材料工学輸講 I 材料工学輸講 I		専	教授	機能材料工学特論 研究者倫理 材料工学輸講 I 材料工学輸講 I	専	教授	機能材料工学特論 研究者倫理 材料工学輸講 I 材料工学輸講 I
		湯川 高志			湯川 高志	1 1			湯川 高志			湯川高志
		<令和4年4月> 博士(情報学)			<令和4年4月> 博士(情報学)				<令和4年4月> 博士(情報学)			<令和4年4月> 博士(情報学)
専	教授	計算機工学特論 研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I	専	教授	計算機工学特論 研究者倫理 情報·制御工学輪講 I 情報·制御工学輪講 I		専	教授	計算機工学特論 研究者倫理 情報・制御工学輸講 I 情報・制御工学輸講 I	専	教授	計算機工学特論 研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I
専	#4-1-12	小野 浩司 <令和4年4月> 博士(工学)	専	**-+=	小野 浩司 <令和4年4月> 博士(工学)		専	44-15	小野 浩司 <令和4年4月> 博士(工学)	Į.	- #4-+ <u>-</u>	小野 浩司 <令和4年4月> 博士(工学)
8	教授	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 電磁波・光波制御工学特論	<del>-</del>	教授	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 電磁波・光波制御工学特論		ᅲ	教授	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 電磁波・光波制御工学特論	<del>-</del>	1 教授	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 電磁波・光波制御工学特論
		斎藤 秀俊			斎藤 秀俊				斎藤 秀俊			斎藤 秀俊
		<令和4年4月> 工学博士			<令和4年4月> 工学博士				<令和4年4月> 工学博士			<令和4年4月> 工学博士
専	教授	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 無機構造材料工学特論	専	教授	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 無機構造材料工学特論		専	教授	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 無機構造材料工学特論	専	4 教授	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 無機構造材料工学特論 材料物性学特論
		岩崎 英治 <令和4年4月> 博士(工学)			岩崎 英治 <令和4年4月> 博士(工学)				岩崎 英治 <令和4年4月> 博士(工学)			岩崎 英治 <令和4年4月> 博士(工学)
専	教授	研究者倫理 銅構造学特論 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I	専	教授	研究者倫理 鋼構造学特論 社会環境・生物機能工学輪 請 I 社会環境・生物機能工学輪 講 II		専	教授	研究者倫理 鋼構造学特論 社会環境・生物機能工学輪 計工 社会環境・生物機能工学輪 講エ	専	教授	研究者倫理 鋼構造学特論 社会環境・生物機能工学輪 講 I 社会環境・生物機能工学輪 諸 II
		高橋 修			髙橋 修				髙橋 修			髙橋 修
		<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専	教授	研究者倫理 材料寿命及び余寿命予測特論 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I	専	教授	研究者倫理 材料寿命及び余寿命予測特 論 社会環境・生物機能工学輪 講 I 環境・生物機能工学輪 講 I 環境・生物機能工学輪 講 I 環境・生物機能工学輪		専	教授	研究者倫理 材料寿命及び余寿命予測特 論 社会環境・生物機能工学輪 講 I 社会環境・生物機能工学輪 講 I	専		研究者倫理 材料寿命及び余寿命予測特 論 社会環境・生物機能工学輪 講1 社会環境・生物機能工学輪 講1
		佐野 可寸志	$\vdash$		佐野 可寸志				佐野 可寸志	-		佐野 可寸志
		<令和4年4月>			<令和4年4月>				<令和4年4月>			<令和4年4月>
専	教授	博士(工学) 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I 和市交通計画学特論	専	教授	博士(工学) 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 諸 I 社会環境・生物機能工学輪 諸 I 計会環境・生物機能工学輪 講 I		専	教授	博士(工学) 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 諸 I 社会環境・生物機能工学輪 講 I	専	□ 教授	社会環境・生物機能工学輪 講 I 社会環境・生物機能工学輪 講 II
			<u> </u>		都市交通計画学特論	J l			都市交通計画学特論			都市交通計画学特論

専任・		т. д		専任・		rr &		専任・		rt &	専任		п 8
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担 兼任 の別	Ē	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名			担当授業科目名
		細山田 得三	ľ			細山田 得三				細山田 得三			細山田 得三
		<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専	教授	研究者倫理		専	教授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪		専	教授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪	į	教 教	受 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪
		社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 II				講I 社会環境・生物機能工学輪				講 I 社会環境・生物機能工学輪			講 I 社会環境・生物機能工学輪
		水圏工学特論				講工水圏工学特論				講 I 水圏工学特論			講 II 水圏工学特論
		末松 久幸				末松 久幸				末松 久幸			末松 久幸
		<令和4年4月> 工学博士				<令和4年4月> 工学博士				<令和4年4月> 工学博士			<令和4年4月> 工学博士
専	教授	エネルギー工学輪講Ⅰ		専	教授	エネルギー工学輪講Ⅰ		専	教授	エネルギー工学輪講 I	Ē	教	* * * *
		エネルギー工学輪講 II 研究者倫理				エネルギー工学輪講 II 研究者倫理				エネルギー工学輪講 II 研究者倫理			エネルギー工学輪講Ⅱ 研究者倫理
		超電導材料工学特論				超電導材料工学特論				超電導材料工学特論			超電導材料工学特論
		太田 浩之				太田 浩之				太田 浩之			太田 浩之
専	教授	<令和4年4月> 博士(工学)		車	教授	<令和4年4月> 博士(工学)	-	専	教授	<令和4年4月> 博士(工学)	草	1 教	<令和4年4月> 博士(工学)
,		機械要素設計工学特論 研究者倫理		٠,	3212	機械要素設計工学特論研究者倫理		• •	2212	機械要素設計工学特論 研究者倫理		32.	へ 機械要素設計工学特論 研究者倫理
		情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 II				情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 II				情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 II			情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 II
		三好 孝典				三好 孝典				三好 孝典			三好 孝典
		<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専	教授	¬		専	教授	フィードフォワード制御特		専	教授	フィードフォワード制御特	į	教 教	受 フィードフォワード制御特
		フィードフォワード制御特論 研究者倫理				論 研究者倫理				論 研究者倫理			論 研究者倫理
		情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 Ⅱ				情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 II				情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I			情報·制御工学輪講 I 情報·制御工学輪講 II
		池田 隆明	ŀ			池田 隆明				池田 隆明			池田 隆明
		<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専	教授			専	教授	研究者倫理 災害軽減・復興システム学		専	教授	研究者倫理 災害軽減・復興システム学	車	事 教	研究者倫理 受 災害軽減・復興システム学
		研究者倫理 災害軽減・復興システム学特論				特論 社会環境・生物機能工学輪				特論 社会環境・生物機能工学輪			特論 社会環境・生物機能工学輪
		社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 II				講 I 社会環境・生物機能工学輪				講 I 社会環境・生物機能工学輪			講 I 社会環境・生物機能工学輪
						講工				講工			講耳
						山形 浩史				山形 浩史			山形 浩史
				_	44.100	<令和4年4月> 博士(工学)		_	- 140 Aug	<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
				專	教授	研究者倫理		専	教授	研究者倫理	1	教	研究者倫理
						情報・制御工学輸講Ⅰ 情報・制御工学輸講Ⅱ				情報・制御工学輪講Ⅰ情報・制御工学輪講Ⅱ			情報・制御工学輸講I 情報・制御工学輸講I
		岩橋 政宏				岩橋 政宏				岩橋 政宏			岩橋 政宏
		<令和4年4月> 博士(工学)		_	40	<令和4年4月> 博士(工学)		-	40.1	<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専	教授	研究者倫理		専	教授	研究者倫理 情報·制御工学輸講 I		専	教授	研究者倫理 传報・制御工学絵業 1	草	教:	受 研究者倫理 情報・制御工学輪講 I
		情報・制御工学輪講Ⅰ 情報・制御工学輪講Ⅱ 情報回路工学特論				情報・制御工学輪講Ⅱ 情報・制御工学輪講Ⅱ 情報回路工学特論				情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 情報回路工学特論			情報・制御工学輪講Ⅱ 情報・制御工学輪講Ⅱ 情報回路工学特論
		伊藤 嘉浩	ļ			伊藤 嘉浩				伊藤 嘉浩			
		<令和4年4月> 博士(経営学)				<令和4年4月> 博士(経営学)				<令和4年4月> 博士(経営学)			
専	教授	経営戦略特論		専	教授	経営戦略特論		専	教授	経営戦略特論			
		研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講Ⅱ				研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 II				研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 II			
		前川博史				前川 博史				前川博史			前川 博史
		<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専	教授	研究者倫理		専	教授	研究者倫理	1	専	教授	研究者倫理	į	教 教	
		材料工学輪講 I 材料工学輪講 I				材料工学輪講 I 材料工学輪講 II				材料工学輪講 I 材料工学輪講 I			材料工学輸講 I 材料工学輸講 I
		精密分子設計特論Ⅱ				精密分子設計特論 Ⅱ				精密分子設計特論Ⅱ			精密分子設計特論Ⅱ
			L		•	•				-			

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任 兼担 兼任 の別		氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名			担当授業科目名
		下村 匠			下村 匠				下村 匠			下村 匠
		<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専	教授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I	専	教授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 講 I 社会環境・生物機能工学輪		専	教授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 講 I 社会環境・生物機能工学輪	専	教授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輸 講 I 社会環境・生物機能工学輸
		複合材料・構造学特論			講Ⅱ 複合材料・構造学特論				講Ⅱ 複合材料・構造学特論			講Ⅱ 複合材料・構造学特論
		政井 英司			政井 英司	•			政井 英司			政井 英司
		<令和4年4月> 博士(農学)			<令和4年4月> 博士(農学)				<令和4年4月> 博士(農学)			<令和4年4月> 博士(農学)
専	教授	研究者倫理	専	教授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪		専	教授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪	専	教授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪
		社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 II			講 I 社会環境・生物機能工学輪				講 I 社会環境・生物機能工学輪			講 I 社会環境・生物機能工学輪
		微生物機能利用工学特論			講 Ⅱ 微生物機能利用工学特論				講 Ⅱ 微生物機能利用工学特論			講 Ⅱ 微生物機能利用工学特論
		河原 成元			河原 成元				河原 成元			河原 成元
専	教授	<令和4年4月> 博士(工学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(工学)		車	教授	<令和4年4月> 博士(工学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(工学)
<del>1</del>	72.12	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講Ⅱ 有機機能材料工学特論	<del>1</del>	4X1X	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 有機機能材料工学特論		₹	4X1X	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 有機機能材料工学特論	4	7212	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 有機機能材料工学特論
		上村 靖司			上村 靖司				上村 靖司			上村 靖司
		<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専	教授	研究者倫理	専	教授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪		専	教授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪	専	教授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪
		社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 II			講 I 社会環境・生物機能工学輪				講 I 社会環境・生物機能工学輪			講 I 社会環境・生物機能工学輪
		防災安全・災害復興学特論			講 II 防災安全・災害復興学特論				講 II 防災安全・災害復興学特論			講 II 防災安全・災害復興学特論
		石橋 隆幸			石橋 隆幸				石橋 隆幸			石橋 隆幸
		<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専	教授	機能性無機材料工学特論※ 研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I	専	教授	機能性無機材料工学特論※ 研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I		専	教授	機能性無機材料工学特論※ 研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 II	専	教授	機能性無機材料工学特論※ 研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I
		三浦 友史			三浦 友史				三浦 友史			三浦 友史
		<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専	教授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理	専	教授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 パワーエレクトロニクス・ メカトロニクス工 <b>学特論</b>		専	教授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 パワーエレクトロニクス・ メカトロニクス工 <b>学特論</b>	専	教授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 パワーエレクトロニクス・ メカトロニクス工学特論
		鈴木 達也			鈴木 達也				鈴木 達也			鈴木 達也
		<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専	教授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 応用核化学 研究者倫理	専	教授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 応用核化学 研究者倫理		専	教授	エネルギー工学輸講 I エネルギー工学輸講 I 応用核化学 研究者倫理	専	教授	エネルギー工学輸講 I エネルギー工学輸講 I 応用核化学 研究者倫理
		綿引 宣道			綿引 宣道				綿引 宣道			綿引 宣道
		<令和4年4月> 博士(経営学)			<令和4年4月> 博士(経営学)				<令和4年4月> 博士(経営学)			<令和4年4月> 博士(経営学)
専	教授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 人間・社会・産業情報学特論※	専	教授	研究者倫理 情報·制御工学輪講 I 情報·制御工学輪講 I 人間·社会·産業情報学特 論※		専	教授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 人間・社会・産業情報学特 論※	専	教授	研究者倫理 情報·制御工学輪講 I 情報·制御工学輪講 I 人間·社会·産業情報学特 論※
		南口 誠			南口 誠				南口 誠			南口 誠
		<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専	教授	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 先端材料創製工学特論	専	教授	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 先端材料創製工学特論		専	教授	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 先端材料創製工学特論	専	教授	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 先端材料創製工学特論

専任・			専任	. 1		1 [	専任・	ı		専任・	T	1
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名			担当授業科目名
		木村 宗弘			木村 宗弘	1 1			木村 宗弘			木村 宗弘
		<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専		研究者倫理 光デバイス工学特論 材料工学輪講 I 材料工学輪講 II	専	教授	研究者倫理 光デバイス工学特論 材料工学輸講 I 材料工学輸講 I		専	教授	研究者倫理 光デバイス工学特論 材料工学輸講 I 材料工学輸講 I	専	教授	研究者倫理 光デバイス工学特論 材料工学輸講 I 材料工学輸講 II
		今久保 達郎			今久保 達郎				今久保 達郎			今久保 達郎
		<令和4年4月> 博士(理学)			<令和4年4月> 博士(理学)				<令和4年4月> 博士(理学)			<令和4年4月> 博士(理学)
専		研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 有機固体化学特論	専	教授	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 有機固体化学特論		専	教授	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 有機固体化学特論	専	教授	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 有機固体化学特論
		豊田 浩史			豊田 浩史	1			豊田 浩史			豊田 浩史
		<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専		研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I 地園工学特論	専	教授	研究者倫理 社会環境·生物機能工学輪 講 I 社会環境·生物機能工学輪 請 I 地圏工学特論		専	教授	研究者倫理 社会環境·生物機能工学輪 講 I 社議 I 地圏工学特論	専	教授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 講 I 社会環境・生物機能工学輪 請 I 地圏工学特論
		木村 哲也		-	木村 哲也	1 1			木村 哲也	-		木村 哲也
		<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専		システム制御工学特論 研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I	専	教授	システム制御工学特論 研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I		専	教授	システム制御工学特論 研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I	専	教授	システム制御工学特論 研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I
		磯部 浩已			磯部 浩已	1			磯部 浩已			磯部 浩已
		<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専		研究者倫理 情報・制御工学輪講Ⅰ 情報・制御工学輪講Ⅱ 超精密加工工学特論	専	教授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 起精密加工工学特論		専	教授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 起精密加工工学特論	専	教授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 超精密加工工学特論
		宮下 幸雄			宮下 幸雄	1			宮下 幸雄			宮下 幸雄
		<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専		研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 破壊予測工学特論	専	教授	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 破壊予測工学特論	-	専	教授	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 破壊予測工学特論	専	教授	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 破壊予測工学特論
		高橋 祥司			高橋 祥司				高橋 祥司			高橋 祥司
		<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専		環境応用生化学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I	専	教授	環境応用生化学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 請I 社会環境・生物機能工学輪 諸工		専	教授	環境応用生化学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 請I 社会環境・生物機能工学輪 請取	専	教授	環境応用生化学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 講I 社会環境・生物機能工学輪 計工
	**	加藤 有行 <令和4年4月> 博士(理学)			加藤 有行 <令和4年4月> 博士(理学)				加藤 有行 <令和4年4月> 博士(理学)			加藤 有行 <令和4年4月> 博士(理学)
専		研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 非線形光学特論	専	教授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 非線形光学特論		専	教授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 非線形光学特論	専	教授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 非線形光学特論
		宮崎 敏昌			宮崎 敏昌	]			宮崎 敏昌			宮崎 敏昌
	an irr	<令和4年4月> 博士(工学)		٠	<令和4年4月> 博士(工学)		_	# i-	<令和4年4月> 博士(工学)		سد	<令和4年4月> 博士(工学)
専		エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I パワーエレクトロニクス・メカ トロニクス工学特論 研究者倫理	専	教授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I パワーエレクトロニクス・ メカトロニクス工学特論 研究者倫理		専	教授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I パワーエレクトロニクス・ メカトロニクス工学特論 研究者倫理	専	教授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I パワーエレクトロニクス・ メカトロニクス工学特論 研究者倫理

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任 兼担 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		野村 収作			野村 収作			野村 収作			野村 収作
		<令和4年4月> 博士(理学)			<令和4年4月> 博士(理学)			<令和4年4月> 博士(理学)			<令和4年4月> 博士(理学)
専	教授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 生体医工学特論	専	教授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 生体医工学特論	専	教授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 生体医工学特論	専	教授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 生体医工学特論
		田中 久仁彦			田中 久仁彦			田中 久仁彦			田中 久仁彦
	准教	<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専	授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 非線形光学特論	専	教授	研究者倫理 情報・制御工学輸講 I 情報・制御工学輸講 I 非線形光学特論	専	教授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 非線形光学特論	専	教授	研究者倫理 情報・制御工学輸講 I 情報・制御工学輸講 I 非線形光学特論
		坪根 正			坪根 正			坪根 正			坪根 正
		<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専	准教 授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 非線形システム設計特論	専	教授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 非線形システム設計特論	専	教授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 非線形システム設計特論	専	教授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 非線形システム設計特論
		圓道 知博			圓道 知博			圓道 知博			圓道 知博
		<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専	准教 授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 信号画像処理特論	専	教授	研究者倫理 情報·制御工学輪講 I 情報·制御工学輪講 I 信号画像処理特論	専	教授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 信号画像処理特論	専	教授	研究者倫理 情報·制御工学輪講 I 情報·制御工学輪講 I 信号画像処理特論
		羽山 徹彩			羽山 徹彩			羽山 徹彩			羽山 徹彩
		<令和4年4月> 博士(知識科学)			<令和4年4月> 博士(知識科学)			<令和4年4月> 博士(知識科学)			<令和4年4月> 博士(知識科学)
専	准教 授	研究者倫理 社会情報学特論※ 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I	専	教授	研究者倫理 社会情報学特論※ 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I	専	教授	研究者倫理 社会情報学特論※ 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I	専	教授	研究者倫理 社会情報学特論※ 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I
		内田 希			内田 希			内田 希			
		<令和4年4月> 博士(理学)			<令和4年4月> 博士(理学)			<令和4年4月> 博士(理学)			
専	准教 授	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 無機構造材料工学特論	専	准教 授	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 無機構造材料工学特論	專	准教 授	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 無機構造材料工学特論			
		伊藤 治彦			伊藤 治彦			伊藤 治彦			
	准教	<令和4年4月> 博士(理学)		准教	<令和4年4月> 博士(理学)		准教	<令和4年4月> 博士(理学)			
専	授	研究者倫理 材料工学輪講 [	専	授	研究者倫理 材料工学輪講 I	専	授	研究者倫理 材料工学輪講 I			
		材料工学輪講 II 材料物性学特論		L	材料工学輸講 II 材料物性学特論			材料工学輸講Ⅱ 材料物性学特論			
		小松 俊哉			小松 俊哉			小松 俊哉			小松 俊哉
		<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専	准教 授	環境システム工学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I	専	准教 授	環境システム工学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 講 I 社会環境・生物機能工学輪 講 I	専	教授	環境システム工学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 請 I 社会環境・生物機能工学輪 諸 I	専	教授	環境システム工学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 請 I 記 会環境・生物機能工学輪 請 I
							-				遠藤 孝浩
											<令和6年4月>
									*	教授	博士 (工学) 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 研究者倫理
					北條 理恵子			北條 理恵子			北條 理恵子
				***	<令和4年4月> 博士(獣医)		785-AM	<令和4年4月> 博士(獣医)			<令和4年4月> 博士(獣医)
		*	准教 授	情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 研究者倫理	*	投	情報・制御工学輪牌 I 情報・制御工学輪牌 I 研究者倫理	*	准教授		

専任・ 兼担・		氏名(年齡)	専任 兼担		氏名(佐藤)	専任・ 兼担・		氏名(年齢)	専任・ 兼担・		氏 名
兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		高原 美規			髙原 美規			高原 美規			高原 美規
	准教	<令和4年4月> 農学博士		X# #h	<令和4年4月> 農学博士		¥± ¥4-	<令和4年4月> 農学博士			<令和4年4月> 農学博士
専	授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I	専	准教 授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 講 I	専	准教 授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 講 I	専	准教授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 講 I
		社会環境・生物機能工学輪講Ⅱ 植物統合工学特論			社会環境・生物機能工学輪 講 II			語 I 社会環境・生物機能工学輪 講 II			社会環境・生物機能工学輪 講 II
		木村 悟隆			植物統合工学特論 木村 悟隆			植物統合工学特論 木村 悟隆			植物統合工学特論 木村 悟隆
	·46.4/L	<令和4年4月> 博士(工学)		*## ##L	<令和4年4月> 博士(工学)		·#-#/L	<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専	准教 授	研究者倫理 材料工学輪講 I	専	准教 授	研究者倫理 材料工学輸講 I	専	准教 授	研究者倫理 材料工学輸講 I	専	准教授	研究者倫理
		材料工学輪講Ⅱ			材料工学輪講Ⅱ			材料工学輪講Ⅱ			材料工学輪講 I 材料工学輪講 II
		熊倉 俊郎			熊倉 俊郎			熊倉 俊郎			熊倉 俊郎
	`#-#h-	<令和4年4月> 博士(工学)		VF 30-	<令和4年4月> 博士(工学)		VF 30-	<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専	准教 授	研究者倫理	専	准教 授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 ****	専	准教 授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 ***・*	専	准教授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪
		社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 II 水圏工学特論			講 I 社会環境・生物機能工学輪 講 II			講Ⅰ 社会環境・生物機能工学輪 講Ⅱ			講Ⅰ 社会環境・生物機能工学輪 講Ⅱ
		犬飼 直之			水圏工学特論 犬飼 直之			水圏工学特論 犬飼 直之			水圏工学特論 犬飼 直之
		<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専	准教 授		専	准教 授	研究者倫理	専	准教 授	研究者倫理	専	准教授	研究者倫理
		研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 II			社会環境・生物機能工学輪 講 I 社会環境・生物機能工学輪		,,,,	社会環境・生物機能工学輪 講 I 社会環境・生物機能工学輪			社会環境・生物機能工学輪 講 I 社会環境・生物機能工学輪
		水圏工学特論			講Ⅱ 水圏工学特論			講Ⅱ 水圏工学特論			講I 水圏工学特論
		霜田 靖			霜田 靖			霜田 靖			霜田 靖
	准教	<令和4年4月> 博士(理学)		准教	<令和4年4月> 博士(理学)	_	准教	<令和4年4月> 博士(理学)			<令和4年4月> 博士(理学)
専	授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I	専	授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 講 I	専	授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 講 I	専	准教授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 講 I
		社会環境・生物機能工学輪講 II 神経機能制御学			社会環境・生物機能工学輪 講Ⅱ			社会環境・生物機能工学輪 講 Ⅱ			社会環境・生物機能工学輪 講Ⅱ
		佐藤 武史			神経機能制御学 佐藤 武史			神経機能制御学 佐藤 武史			神経機能制御学 佐藤 武史
		<令和4年4月> 博士(薬学)			<令和4年4月> 博士(薬学)			<令和4年4月> 博士(薬学)			<令和4年4月> 博士(薬学)
専	准教 授	THOSE # 10 PM	専	准教 授	研究者倫理	専	准教 授	研究者倫理	専	准教授	研究者倫理
	12	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 II		IX	社会環境・生物機能工学輪 講 I 社会環境・生物機能工学輪		1又	社会環境・生物機能工学輪 講 I 社会環境・生物機能工学輪			社会環境・生物機能工学輪 講 I 社会環境・生物機能工学輪
		糖鎖生命工学特論			講I 糖鎖生命工学特論			講Ⅱ 糖鎖生命工学特論			講I 糖鎖生命工学特論
		鈴木 正太郎			鈴木 正太郎			鈴木 正太郎			鈴木 正太郎
		<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専	准教 授	エネルギー工学輸講Ⅰ	専	准教 授	エネルギー工学輪講 I	専	准教 授	エネルギー工学輪講I	専	准教授	エネルギー工学輸講I
		エネルギー工学輪講 II 研究者倫理			エネルギー工学輪講 II 研究者倫理			エネルギー工学輪講 II 研究者倫理			エネルギー工学輪講 II 研究者倫理
		熱エネルギー工学特論		-	熱エネルギー工学特論			熱エネルギー工学特論			熱エネルギー工学特論 
		岡元 智一郎			岡元 智一郎 <令和4年4月>			岡元 智一郎			岡元 智一郎
_	准教	博士(工学)	_	准教	博士(工学)	±	准教	博士(工学)	_	AT SEL TON	博士(工学)
専	授	エレクトロセラミックス工学特論 研究者倫理	専	授	エレクトロセラミックス工学特論	専	授	エレクトロセラミックス工学 特論 研究者倫理	専	准教授	エレクトロセラミックス工学 特論 研究者倫理
		材料工学輪講Ⅰ 材料工学輪講Ⅱ			研究者倫理 材料工学輸講 I 材料工学輸講 II			研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 II			研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 II
		中平(田中) 勝子		1	中平(田中) 勝子			中平(田中) 勝子			中平(田中) 勝子
		<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専	准教 授	研究者倫理	専	准教 授	研究者倫理	専	准教 授	研究者倫理	専	准教授	研究者倫理
		情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I			情報·制御工学輪講 I 情報·制御工学輪講 I 人間·社会·産業情報学特			情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 人間・社会・産業情報学特			情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 人間・社会・産業情報学特
					100 (a) 20 20 20 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10			(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)			★ 10 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	<b>亲</b>	存任・ 乗担・ 乗任 D別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名			担当授業科目名
		髙橋 一義			髙橋 一義	1			髙橋 一義			髙橋 一義
	<b>₩</b>	<令和4年4月> 博士(工学)		`#±#+	<令和4年4月> 博士(工学)			<b>₩</b>	<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専	准教 授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輸講 I	専	准教 授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 講 I		専	准教 授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 講 I	専	准教授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 講 I
		社会環境・生物機能工学輪講Ⅱ 社会環境・生物機能工学輪講Ⅱ 地球環境計測工学特論			両Ⅰ 社会環境・生物機能工学輪 講Ⅱ				<sub>語Ⅰ</sub> 社会環境・生物機能工学輪 講Ⅱ			<sub>時Ⅰ</sub> 社会環境・生物機能工学輪 講Ⅱ
					地球環境計測工学特論	I ⊢			地球環境計測工学特論			地球環境計測工学特論
		小林 泰秀 <令和4年4月> 博士(工学)			小林 泰秀   <令和4年4月>   博士(工学)				小林 泰秀 <令和4年4月> 博士(工学)			小林 泰秀 <令和4年4月> 博士(工学)
専	准教 授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理	専	准教 授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 エネルギー支換・制御工学特 論		専	准教 授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 エネルギー変換・制御工学特	専	准教授	エネルギー工学輸講 I エネルギー工学輸講 I ボッス者倫理 エネルギー変換・制御工学特
		鈴木 常生			鈴木 常生	-			鈴木 常生			鈴木 常生
		<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専	准教 授	エネルギーエ学輪講 I エネルギーエ学輪講 I 研究者倫理	専	准教 授	エネルギー工学輸講 I エネルギー工学輸講 I 研究者倫理		専	教授	エネルギー工学輸講 I エネルギー工学輸講 I 研究者倫理	専	教授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理
		髙橋 由紀子			髙橋 由紀子	1 F			髙橋 由紀子			髙橋 由紀子
	<i>ж</i> .	<令和4年4月> 博士(工学)		`#±#+	<令和4年4月> 博士(工学)			<i>ж</i> .	<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専	准教 授	機能材料工学特論研究者倫理	専	准教 授	機能材料工学特論研究者倫理		専	准教 授	機能材料工学特論 研究者倫理	専	准教授	機能材料工学特論 研究者倫理
		材料工学輪講 I 材料工学輪講 II			材料工学輪講 I 材料工学輪講 I				材料工学輪講 I 材料工学輪講 II			材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 持続可能環境材料工学特論
		山本 麻希			山本 麻希	1			山本 麻希			山本 麻希
		<令和4年4月> 博士(理学)			<令和4年4月> 博士(理学)				<令和4年4月> 博士(理学)			<令和4年4月> 博士(理学)
専	准教 授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I 野生動物管理工学特論	専	准教 授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 講 I 表環境・生物機能工学輪 講 I 野生動物管理工学特論		専	准教 授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 講 I 社会環境・生物機能工学輪 講 I 野生動物管理工学特論	専	准教授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 講 I 社会環境・生物機能工学輪 講 I 野生動物管理工学特論
		齊藤 信雄			齊藤 信雄	1						
専	准教 授	<令和4年4月> 博士(工学)	専	准教 授	<令和4年4月> 博士(工学)							
	•	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 II		12	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 II							
		研究者倫理 大場 恭子			研究者倫理 大場 恭子	<del> </del>			大場 恭子			大場 恭子
	准教	<令和4年4月> 政策・メディア修士		准教	<令和4年4月> 政策・メディア修士			准教	<令和4年4月> 政策・メディア修士			<令和4年4月> 政策・メディア修士
専	授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理	専	授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理		専	授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理	専	准教授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理
		西村 泰介			西村 泰介	] [			西村泰介			西村 泰介
		<令和4年4月> 博士(理学)			<令和4年4月> 博士(理学)	]			<令和4年4月> 博士(理学)			<令和4年4月> 博士(理学)
専	准教 授	研究者倫理	専	准教 授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪		専		研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪	専	准教授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪
		社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 II 植物濃にユエ党特論			講 I 社会環境・生物機能工学輪 講 II				講I 社会環境・生物機能工学輪 港町			講 I 社会環境・生物機能工学輪 講 II
		植物遺伝子工学特論			講Ⅱ 植物遺伝子工学特論	] [			講Ⅱ 植物遺伝子工学特論			講Ⅱ 植物遺伝子工学特論
		]			志田 洋介				志田 洋介			志田 洋介
				عديد.	<令和4年4月> 博士(工学)			Ar her	<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
			*	授	社会環境・生物機能工学輸講 I 社会環境・生物機能工学輸講 I 研究者倫理		*	准教 授	社会環境・生物機能工学輸購 I 社会環境・生物機能工学輸購 II 研究者倫理	*	准教授	社会環境・生物機能工学輸購 I 社会環境・生物機能工学輸購 II 研究者倫理
		菊池 崇志			菊池 崇志	1			菊池 崇志			菊池 崇志
		<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専	准教 授	エネルギー工学輸講 I エネルギー工学輸講 I ブラズマ・核融合工学特論 研究者倫理	専	准教 授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I ブラズマ・核融合工学特論 研究者倫理		専	准教 授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I ブラズマ・核融合工学特論 研究者倫理	専	准教授	エネルギー工学輸講 I エネルギー工学輸講 II ブラズマ・核融合工学特論 研究者倫理

専任・ 兼担・		氏 名	専 년 兼 担			氏名	専任・ 兼担・		氏 名	専任兼担			氏 名
兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼任の別		名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼任の別	Ŧ	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名				担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名
専		芳賀 仁  《令和4年4月》 博士(工学)  エネルギー工学輪講『 エネルギー工学輪講『 エネルギー変換・制御工学特論	Ę	<u>·</u> 准		芳賀 仁							
専			Ę		教员	会議 信責  会和4年月> 博士(経済学) 研究者倫理 情報・制御工学輸講Ⅰ 情報・制御工学輸講Ⅱ 情報・制御工学輸講Ⅱ 人間・社会・産業情報学特	専	准教 授	鈴木 信貴 〈令和4年4月〉 博士(経済学) 研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 人間・社会・産業情報学特	THE STATE OF THE S	専		鈴木 信貴  〈令和4年4月〉 博士(経済学) 研究者倫理 情報・制御工学輸講Ⅰ 情報・制御工学輸講Ⅱ 情報・制御工学輸講Ⅱ 大設・産業情報学特
争		會田 英雄  < 令和4年4月> 博士(工学)  結晶工学特論 研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I	Ę			會田 英雄 《令和4年4月》 博士(工学) 結晶工学特論 研究者倫理 材料工学輸講 I 材料工学輸講 I	専	准教授	會田 英雄 < 令和4年4月 > 博士(工学) 結晶工学特論 研究者倫理 材料工学輸講 I 材料工学輸請 I	Ī	専		會田 英雄  < 令和4年4月 > 博士(工学)  結晶工学特論 研究者倫理 材料工学輸講 I 材料工学輸講 I
専		宮下 剛 《令和4年4月》 博士(工学) 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I 複合材料・構造学特論	Ę		受	宮下 剛  《令和4年4月》  博士(工学)  研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 請訂 社会環境・生物機能工学輪 請訂 社会環境・生物機能工学輪 請目	専	准教授	宮下 剛 〈令和4年4月〉 博士(工学) 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 請I 社会環境・生物機能工学輪 請I 社会環境・生物機能工学輪				
専		藤原 郁子 《令和4年4月》 博士(理学) 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I	Ę		教	藤原 郁子 <令和4年4月> 博士(理学) 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 講I 社会環境・生物機能工学輪 講I	申	准教授	藤原 郁子 <令和4年4月〉 博士(理学) 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 請I 社会環境・生物機能工学輪 請I 社会環境・生物機能工学輪	THE STATE OF THE S	専		藤原 郁子 <令和4年4月> 博士(理学) 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 請I 社会環境・生物機能工学輪 請I 世外子運動工学特論
専	准教授	船津 麻美 <令和4年4月> 博士(工学) 研究者倫理 材料工学輸講 I 材料工学輸講 I	Ę.			船津 麻美 <令和4年4月> 博士(工学) 研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I	専	准教授	船津 麻美 <令和4年4月> 博士(工学) 研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I	THE STATE OF THE S	専		船津 麻美 <令和4年4月> 博士(工学) 研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I
專		本間 剛 《令和4年4月》 博士(工学)  エネルギー工学輸講 I エネルギー工学輸講 I 環境発電セラミック材料工学特論 研究者倫理	Ę		^	本間 剛 < 令和4年4月 > 博士(工学)  エネルギー工学輸講 I エネルギー工学輸講 I 環境発電セラミック材料工学特 研究者倫理	専	教授	本間 剛 <令和4年4月> 博士(工学)  エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 環境発電セラミック材料工学 特論 研究者倫理	Į	専		本間 剛 <令和4年4月> 博士(工学)  エネルギー工学輸講 I エネルギー工学輸講 I 環境発電セラミック材料工学 特論 研究者倫理
専		鵜沼 毅也  《令和4年4月》 博士(理学)  研究者倫理 情報・制御工学輸講 I 情報・制御工学輸講 I 非線形光学特論	Į			鵜沼 毅也  <令和4年4月〉 博士(理学)  研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 非線形光学特論	専	准教授	鵜沼 毅也 <令和4年4月> 博士(理学) 研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 非線形光学特論	Ī	専		鵜沼 毅也  〈令和4年4月〉 博士(理学)  研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 非線形光学特論
専		松川 寿也 <令和4年4月> 博士(工学)  研究者倫理 国土総合計画学特論 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I	Į		受	松川 寿也 < 令和4年4月>	由守	准教授	松川 寿也 <令和4年4月> 博士(工学) 研究者倫理 国土総合計画学特論 社会環境・生物機能工学輸 講 I 社会環境・生物機能工学輸 講 I	Ī	専		松川 寿也 《令和4年4月》 博士(工学) 研究者倫理 国土総合計画学特論 社会環境・生物機能工学輸 講 I 社会環境・生物機能工学輸 講 I
専		太田 朋子 〈令和4年4月〉 博士(工学) エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 環境放射能特論 研究者倫理	Ę			太田 朋子  〈令和4年4月〉  博士(工学)  エネルギー工学輸講 I  現境放射能特論  研究者倫理	専	准教授	太田 朋子 〈令和4年4月〉 博士(工学) エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 環境放射能特論 研究者倫理	Ī	専 7		太田 朋子 〈令和4年4月〉 博士(工学) エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 環境放射能特論 研究者倫理

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	専任兼主兼任の5	∄ · ቿ	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名			担当授業科目名
		倉橋 貴彦			倉橋 貴彦				倉橋 貴彦			倉橋 貴彦
	·#-#J-	< 令和4年4月> 博士(工学)		VH 301-	<令和4年4月> 博士(工学)			`#-#h-	<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専	授	研究者倫理 情報·制御工学輪講 I 情報·制御工学輪講 I 有限要素解析特論	専	准教 授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 有限要素解析特論	]	専	准教 授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 有限要素解析特論	専	教授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 有限要素解析特論
		杉田 泰則			杉田 泰則				杉田 泰則			杉田 泰則
専	准教	<令和4年4月> 博士(工学)	車	准教	<令和4年4月> 博士(工学)	Ι.	専	准教	<令和4年4月> 博士(工学)	車	74 #F 122	<令和4年4月> 博士(工学)
<del></del>	授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 信号画像処理特論	<del></del>	授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 信号画像処理特論	_	<del>4</del>	授	研究者倫理 情報・制御工学輸講 I 情報・制御工学輸講 I 信号画像処理特論	<del></del>	准教授	研究者倫理 情報・制御工学輸講 I 情報・制御工学輸講 I 信号画像処理特論
		張坤			張坤				張坤			張坤
		<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専	准教 授	データマネジメント特論 研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I	専	准教 授	データマネジメント特論 研究者倫理 情報・制御工学輪講Ⅰ 情報・制御工学輪講Ⅱ	IMP	専	准教 授	データマネジメント特論 研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I	専	准教授	データマネジメント特論 研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I
		本間 智之			本間 智之	F			本間 智之			本間 智之
		<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専	准教 授	回折物理学特論【隔年】 研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I	専	准教 授	回折物理学特論【隔年】 研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I	1	専	准教 授	回折物理学特論【隔年】 研究者倫理 材料工学繪講 I 材料工学輪講 II	専	准教授	回折物理学特論【隔年】 研究者倫理 材料工学繪講 I 材料工学輪講 II
					車冬				車冬			章 冬
					<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
			*	授	情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 研究者倫理	1	*	准教 授	情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 研究者倫理	*	准教授	情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 研究者倫理
		笠井 大輔			笠井 大輔	F			笠井 大輔			笠井 大輔
		<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専	准教 授	遺伝子工学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輸講 I 社会環境・生物機能工学輸講 I	専	准教 授	遺伝子工学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 講 I 社会環境・生物機能工学輪 講 I	1	専	准教 授	遺伝子工学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 請 I 社会環境・生物機能工学輪 講 I	専	准教授	遺伝子工学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 請 I 社会環境・生物機能工学輪 講 I
		松田(上米良) 曜子			松田(上米良) 曜子				松田(上米良) 曜子			
		<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)			
専	准教 授	研究者倫理 災害軽減・復興システム学特論 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I	専	准教 授	研究者倫理 災害軽減・復興システム学 特論 社会環境・生物機能工学輪 請 I 社会環境・生物機能工学輪 講 I	3	専	准教 授	研究者倫理 災害軽減・復興システム学 特論 社会環境・生物機能工学輪 請 I 社会環境・生物機能工学輪 講 I			
		中村 文則			中村 文則	F			中村 文則			中村 文則
		<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専	准教 授	研究者倫理 社会環境·生物機能工学輪講 I 社会環境·生物機能工学輪講 II	専	准教 授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 請 I 社会環境・生物機能工学輸 講 I	Ĭ	專	准教 授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 請 I 社会環境・生物機能工学輪 講 I	専	准教授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 請 I 社会環境・生物機能工学輪 講 I
		白川 智弘			白川 智弘	$\vdash$			白川 智弘	<u> </u>		
		<令和4年4月> 博士(理学)			<令和4年4月> 博士(理学)				<令和4年4月> 博士(理学)			
専	准教 授	原工(理子) 研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講Ⅱ	専	准教 授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 人間・社会・産業情報学特 論		専	准教 授	等工(理学) 研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 人間・社会・産業情報学特 論			

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	専任 兼担 兼任 の別		氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名			担当授業科目名
		多賀谷 基博			多賀谷 基博	1 1			多賀谷 基博			多賀谷 基博
	VI. #11.	<令和4年4月> 博士(工学)		VI. #1	<令和4年4月> 博士(工学)			VI #IL	<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専	准教 授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 生体材料工学特論	専	准教 授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 生体材料工学特論		専	准教 授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 生体材料工学特論	専	准教授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 生体材料工学特論
		大塚 雄市			大塚 雄市				大塚 雄市			大塚 雄市
	准教	<令和4年4月> 博士(工学)		准教	<令和4年4月> 博士(工学)			准教	<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専	授	研究者倫理 構造安全設計特論 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I	専	授	研究者倫理 構造安全設計特論 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I		専	授	研究者倫理 構造安全設計特論 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I	専	准教授	研究者倫理 構造安全設計特論 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I
		桑原 敬司			桑原 敬司				桑原 敬司			桑原 敬司
		<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専	准教 授	研究者倫理	専	准教 授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪		専	准教 授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪	専	准教授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪
		社会環境・生物機能工学輪講Ⅰ社会環境・生物機能工学輪講Ⅱ			講 I 社会環境・生物機能工学輪				講 I 社会環境・生物機能工学輪 # #			講 I 社会環境・生物機能工学輪
		生物材料応用工学特論			講Ⅱ 生物材料応用工学特論				講Ⅱ 生物材料応用工学特論			講Ⅱ 生物材料応用工学特論
		秋元 頼孝			秋元 頼孝				秋元 頼孝			秋元 頼孝
		<令和4年4月> 博士(情報科学)			<令和4年4月> 博士(情報科学)				<令和4年4月> 博士(情報科学)			<令和4年4月> 博士(情報科学)
専	准教 授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 II	専	准教 授	研究者倫理 社会環境-生物機能工学輸 課工 社会環境-生物機能工学輸 課工 生体医工学特論 情報・制御工学輸課 I 情報・制御工学輸講 I		専	准教 授	研究者倫理 社会環境-生物機能工学輸 課工 社会環境-生物機能工学輸 課工 生体医工学特論 情報・制御工学輸講工 情報・制御工学輸講工	専	准教授	研究者倫理 社会環境 - 生物機能工学輸 購工 社会環境 - 生物機能工学輸 購工 生体医工学特論 情報 - 制御工学輸酵 I 情報 - 制御工学輸酵 I
					原生祐				原生祐			
				准教	<令和4年4月> 博士(工学)			准教	<令和4年4月> 博士(工学)			
				授	材料工学輪牌 I 材料工学輪牌 I 研究者倫理			授	材料工学輸購 I 材料工学輸購 I 研究者倫理			
		勝身 俊之			勝身 俊之				勝身 俊之			勝身 俊之
専	准教	<令和4年4月> 博士(工学)	専	准教	博士(工学)		専	准教	<令和4年4月> 博士(工学)	車	准教授	<令和4年4月> 博士(工学)
4	授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理	4	授	エネルギー工学輸講 I エネルギー工学輸講 I 研究者倫理		ħ	授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理	4	/E-1X1X	エネルギー工学輸講 I エネルギー工学輸講 I 研究者倫理
		野中 尋史										
専	准教 授	博士(工学) 研究者倫理										
		研えるⅢ垤 社会情報学特論※ 情報・制御工学輪講 I										
		西川(多賀谷) 雅美			西川(多賀谷) 雅美				西川(多賀谷) 雅美			西川(多賀谷) 雅美
		<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専	准教 授	機能性無機材料工学特論※ 研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 II	専	准教 授	機能性無機材料工学特論※ 研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I		専	准教 授	機能性無機材料工学特論※ 研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I	専	准教授	機能性無機材料工学特論※ 研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I
		幡本 将史			幡本 将史				幡本 将史		†	幡本 将史
		<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専	准教 授	環境システム工学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I	専	准教 授	環境システム工学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 請 I 社会環境・生物機能工学輪 請 I 財		専	准教 授	環境システム工学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 請 I 社会環境・生物機能工学輪 請 環境・生物機能工学輪 調度機生物工学特論	専	准教授	環境システム工学特施 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 請 I 社会環境・生物機能工学輪 請 I 環境 後生物 世物機能工学輪

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	<b>३</b>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名			担当授業科目名
		真田 亜紀子 <令和4年4月> Doctor of Philosophy (Mathematics) (かサダ)			眞田 亜紀子 <令和4年4月> Doctor of Philosophy (Mathematics) (カナダ)				眞田 亜紀子 <令和4年4月> Doctor of Philosophy (Mathematics) (カナダ・)			眞田 亜紀子 <令和4年4月> Doctor of Philosophy (Mathematics) (カナダ)
専	准教 授	研究者倫理 情報·制御工学輪講 I 情報·制御工学輪講 I	専	准教 授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報教理応用工学特論		専	准教 授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 情報数理応用工学特論	専	准教授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報教理応用工学特論
	\(\frac{1}{2}\)	大橋 智志 <令和4年4月> 博士(工学)		W ML	大橋 智志 <令和4年4月> 博士(工学)							
専	准教 授	研究者倫理 情報・制御工学輸講 I 情報・制御工学輸講 I	専	准教 授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 生体医工学特論							
		南部 功夫			南部 功夫				南部 功夫 <令和4年4月>			南部 功夫
		博士(工学)			博士(工学)				博士(工学)			博士(工学)
専	准教 授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 脳・生体情報工学特論	専	准教 授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 脳・生体情報工学特論		専	准教 授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 脳・生体情報工学特論	専	准教授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制備報工学特論 脳・生体情報工学特論 カオス・フラクタル情報教 理工学特論 ネットワークシステム特論
		佐々木 友之			佐々木 友之				佐々木 友之			佐々木 友之
車	准教	<令和4年4月> 博士(工学)	専	准教	<令和4年4月> 博士(工学)		専	准教	<令和4年4月> 博士(工学)	専	VF #F 150	<令和4年4月> 博士(工学)
4	授	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 電磁波・光波制御工学特論	<del>-</del>	授	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 電磁波·光波制御工学特論		界	授	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 電磁波・光波制御工学特論	₩   ₩	准教授	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 電磁波・光波制御工学特論
	准教	玉山 泰宏 <令和4年4月> 博士(工学)		准教	玉山 泰宏 <令和4年4月> 博士(工学)			准教	玉山 泰宏 <令和4年4月> 博士(工学)			玉山 泰宏 <令和4年4月> 博士(工学)
専	授	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 電磁波・光波制御工学特論	専	授	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 電磁波・光波制御工学特論		専	授	研究者倫理 材料工学輸講 I 材料工学輸講 I 電磁波・光波制御工学特論	専	准教授	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 電磁波・光波制御工学特論
		西山 雄大			西山 雄大				西山 雄大			西山 雄大
		<令和4年4月> 博士(理学)			<令和4年4月> 博士(理学)				<令和4年4月> 博士(理学)			<令和4年4月> 博士(理学)
専	講師	研究者倫理 研究者倫理 社会情報学特論※ 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I	専	准教 授	研究者倫理 社会情報学特論※ 情報・制御工学輪講Ⅰ 情報・制御工学輪講Ⅱ		専	准教 授	研究者倫理 社会情報学特論※ 情報・制御工学輪講Ⅰ 情報・制御工学輪講Ⅱ	専	准教授	研究者倫理 社会情報学特論※ 情報・制御工学輪講Ⅰ 情報・制御工学輪講Ⅱ
					竹澤 宏樹				竹澤 宏樹			竹澤 宏樹
				准教	<令和4年4月> 博士(工学)		•	准教	<令和4年4月> 博士(工学)		******	<令和4年4月> 博士(工学)
			Ī	授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理		*	授	エネルギー工学輸購 I エネルギー工学輸購 I 研究者倫理	1	准教授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理
		白仁田(稲川) 沙代子			白仁田(稲川) 沙代子				白仁田(稲川) 沙代子			白仁田(稲川) 沙代子
	准教	<令和4年4月> 博士(工学)		准教	<令和4年4月> 博士(工学)		_	准教	<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専	授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 電気化学エネルギー工学特論	専	授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 電気化学エネルギー工学特 論		専	授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 電気化学エネルギー工学特 論	専		エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 電気化学エネルギー工学特 論
		山本 謙一郎 <令和4年4月>			山本 謙一郎				山本 謙一郎 <令和4年4月>			山本 謙一郎
車	准教	博士(理学)	車	准教	博士(理学)		車	准教	博士(理学)	車	准教授	博士(理学)
4	授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 情報数理応用工学特論	7	授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 情報数理応用工学特論		₹	授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 情報数理応用工学特論	<del>1</del>	准教授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 情報数理応用工学特論

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任 兼担 兼任 の別	•	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名				担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名
		溝尻 瑞枝	•			溝尻 瑞枝			溝尻 瑞枝				溝尻 瑞枝
	准教	<令和4年4月> 博士(工学)			准教	<令和4年4月> 博士(工学)		准教	<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)
専	授	レーザ加工学特論 研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I		専	授	レーザ加工学特論 研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I	専	授	レーザ加工学特論 研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I	専	進		レーザ加工学特論 研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I
					10.40.	上村 直史 <令和4年4月> 博士(工学)		38.48.	上村 直史 <令和4年4月> 博士(工学)				上村 直史 <令和4年4月> 博士(工学)
				專	准教 授	社会環境・生物機能工学輸講 I 社会環境・生物機能工学輸講 I 研究者倫理	*	准教 授	社会環境・生物機能工学輸講 I 社会環境・生物機能工学輸講 I 研究者倫理	4	<b>准</b>		社会環境・生物機能工学輸購 I 社会環境・生物機能工学輸購 II 研究者倫理
		横倉 勇希	-			横倉 勇希			横倉 勇希				横倉 勇希
		<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)		40	<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)
専	准教 授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I パワーエレクトロニクス・メカ トロニクス工学特論 研究者倫理		専	准教 授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I パワーエレクトロニクス・ メカトロニクス工学特論 研究者倫理	尃	准教 授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I パワーエレクトロニクス・ メカトロニクス工学特論 研究者倫理	専	進		エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I パワーエレクトロニクス・ メカトロニクス工学特論 研究者倫理
		渡部 康平 <令和4年4月> 博士(情報科学)				渡部 康平 <令和4年4月> 博士(情報科学)			渡部 康平 <令和4年4月> 博士(情報科学)				
専	准教 授	ネットワークシステム特論 研究者倫理 情報・制御工学輸講 I 情報・制御工学輸講 I		専	准教 授	ネットワークシステム特論 研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I	専	准教 授	ネットワークシステム特論 研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I カオス・フラクタル情報数 理工学特論				
		福元 豊 <令和4年4月> 博士 (農学)				福元 豊 <令和4年4月> 博士(農学)			福元 豊 <令和4年4月> 博士(農学)				福元 豊 <令和4年4月> 博士 (農学)
再	准教 授	応用地盤解析学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輸講 I 社会環境・生物機能工学輸講 I		専	准教 授	応用地盤解析学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 講 I 社会環境・生物機能工学輪 講 I	専	准教 授	応用地盤解析学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 講 I 社会環境・生物機能工学輪 講 I	專	· 准	教授	応用地盤解析学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 諸社会環境・生物機能工学輪 請耳 複合材料・構造学特論
						坂本 盛嗣			坂本 盛嗣				坂本 盛嗣
					准教	<令和4年4月> 博士(工学)	_	准教	<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)
				*	业	材料工学輪牌 I 材料工学輪牌 I 研究者倫理 電磁波·光波制御工学特論	•	製	材料工学輪牌 I 材料工学輪牌 I 研究者倫理 電磁波・光波制御工学特論		<b>工</b>		材料工学輪牌 I 材料工学輪牌 I 研究者倫理 電磁波・光波制御工学特論
		日高 勇気				日高 勇気			日高 勇気				日高 勇気
_	准教	<令和4年4月> 博士(情報科学)		_	准教	<令和4年4月> 博士(情報科学)	_	准教	<令和4年4月> 博士(情報科学)				<令和4年4月> 博士(情報科学)
専	授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理		専	授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 エネルギー変換・制御工学特 論	専	授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 エネルギー変換・制御工学特 論	専	· 准		エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 エネルギー変換・制御工学特 論
		山下 智樹				山下 智樹			山下 智樹				山下 智樹
	准教	<令和4年4月> 博士(工学)			准教	<令和4年4月> 博士(工学)		准教	<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)
専	授	計算材料科学特論 研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I		専	授	計算材料科学特論 研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I	専	授	計算材料科学特論 研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I	専	ī 准		計算材料科学特論 研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I
		庄司 観 <令和4年4月> 博士(工学)			سر عون	庄司 観 <令和4年4月> 博士(工学)		سريون	庄司 観 <令和4年4月> 博士(工学)				庄司 観 <令和4年4月> 博士(工学)
専	講師	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 分子ロボット工学特論		専	准教 授	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 分子ロボット工学特論	専	准 <b>教</b> 授	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 分子ロボット工学特論	専	准		研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 分子ロボット工学特論
									土居 裕和				土居 裕和
							*	准教授	<令和4年9月> 博士(学術)	4	進	教授	<令和4年9月> 博士(学術)
									研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I				研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I

専任・		E 20	専任・		正 夕	専任・		丘 夕	専任・		EL 19
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
								大岩 孝輔			大岩 孝輔
							准教	<令和5年3月> 博士(科学)		and the time	<令和5年3月> 博士(科学)
						*	授	研究者倫理 情報・制御工学輪牌 I 情報・制御工学輪牌 I	#	准教授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 生体医工学特論
											原川 良介
										VII. 401. 400	<令和5年10月> 博士(情報科学)
										准教授	研究者倫理 情報·制御工学輪講 I 情報·制御工学輪講 I 情報回路工学特論
											須貝 太一
										准教授	<令和6年3月> 博士(工学)
									•	VE-SKIX	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理
											大橋 智志
											<令和6年4月〉 博士 (工学)
									#	准教授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I
											平沢 壮
											<令和6年4月〉 博士 (工学)
										准教授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I
											臭島 大
										准教授	<令和6年4月> 博士(体育学)
										VE-WALK	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I
											中田・祐樹
										准教授	<令和6年4月〉 博士 (工学)
											エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理
											勝木 将人
										准教授	<令和6年4月〉 博士 (医学)
											研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I
		中田 大貴			中田 大貴			中田 大貴			中田 大貴
_	=# 4T	<令和4年4月> 博士(工学)	_	=# 4T	<令和4年4月> 博士(工学)	_	=# 4~	<令和4年4月> 博士(工学)		=# 4 <b>~</b>	<令和4年4月> 博士(工学)
専		研究者倫理	専	講師	研究者倫理	専	講師	研究者倫理	専	講師	研究者倫理
		材料工学輪講 I 材料工学輪講 II			材料工学輪講Ⅱ 材料工学輪講Ⅲ			材料工学輪講 I 材料工学輪講 II			材料工学輪講 I 材料工学輪講 II
		藤原 健志									
専	講師	<令和4年4月> 博士(工学)									
		研究者倫理 材料工学輪講 I									
		材料工学輪講Ⅱ			日下 佳祐	<u> </u>		日下 佳祐			日下 佳祐
					<令和4年4月>			<令和4年4月>			<令和4年4月>
			*	講師	博士(工学)	*	講師	博士(工学)	*	准教授	博士(工学)
					エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理			エネルギー工学輸講 I エネルギー工学輸講 I 研究者倫理			エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 節) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任 兼担 兼任 の別		休月子世寺
		担当授業科目名 藤澤 慶			担当授業科目名 藤澤 慶			担当授業科目名 藤澤 慶	$\vdash$		担当授業科目名
		<令和4年4月> 博士(環境学)			<令和4年4月> 博士(環境学)			<令和4年4月> 博士(環境学)			
専		研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 Ⅱ	専	講師	研究者倫理 材料工学輸講 I- 材料工学輸講 I エネルギー工学輸講 I エネルギー工学輸講 I	専	講師	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I			
					加藤 哲平 <令和4年4月> 博士 (工学)			加藤 哲平 <令和4年4月> 博士 (工学)			加藤 哲平 <令和4年4月> 博士 (工学)
			*	講師	社会環境・生物機能工学輸講 I 社会環境・生物機能工学輸講 II 研究者倫理	專	講師	社会環境・生物機能工学輸講 I 社会環境・生物機能工学輸講 II 研究者倫理	*	講師	社会環境・生物機能工学輸騰 I 社会環境・生物機能工学輸騰 II 研究者倫理
					佐藤 大輔			佐藤 大輔			佐藤 大輔
				講師	<令和4年4月> 博士 (工学)		講師	<令和4年4月> 博士(工学)		講師	<令和4年4月> 博士 (工学)
			•	Side toch	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理	•	Die teh	エネルギー工学輸購 I エネルギー工学輸購 I 研究者倫理		91-5 IDI	エネルギー工学 <b>輸講</b> I エネルギー工学輸講 I 研究者倫理
								雲居 玄道			雲居 玄道 《令和5年3月》
						#	講師	博士(工学)		講師	博士 (工学)
								研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I			研究者倫理 情報・制御工学論講 I 情報・制御工学論講 I 社会情報学特論
								高橋 一匡 <令和4年4月> 博士(工学)			高橋 一匡 <令和4年4月> 博士(工学)
						*	助教	(研究指導)	*	准教	エネルギー工学輸講 I エネルギー工学輸講 I     ボカルギー工学輸講 I     研究者倫理     イオンビーム工学特論
											Do Thi Mai Dung
											<令和6年4月> 博士(工学)
									*	助参	(研究指導)
		中川 匡弘 <令和4年4月>			中川 匡弘 <令和4年4月>						
		博士(工学)			博士(工学)						
兼担		カオス・フラクタル情報数理工 学特論 研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I	兼担	教授	カオス・フラクタル情報数 理工学特論 研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I						
		小林 高臣 <令和4年4月>			小林 高臣 <令和4年4月>			小林 高臣 <令和4年4月>			
兼担	教授	研究者倫理	兼担	教授	博士(理学) 研究者倫理	兼担	教授	マラ和4年4月2 博士(理学) 研究者倫理			
		研究 4 冊理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 持続可能環境材料工学特論			研究有個理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 持続可能環境材料工学特論			研究有個理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 持続可能環境材料工学特論			
		山口 隆司 <令和4年4月> 博士(工学)			山口 隆司 <令和4年4月> 博士(工学)			山口 隆司 <令和4年4月> 博士(工学)			山口 隆司 <令和4年4月> 博士(工学)
兼担		環境システム工学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I	兼担	教授	環境システム工学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 講 I 社会環境・生物機能工学輪 計議 I	兼担	教授	環境システム工学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 講 I 社会環境・生物機能工学輪 講 I	兼挂	担 教授	

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼	任・ 程担・ 任 )別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名			担当授業科目名
		小笠原 渉			小笠原 渉				小笠原 渉			小笠原 渉
		<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
兼担	教授	バイオリファイナリー研究開発 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輸講 I 社会環境・生物機能工学輸講 I	兼担	教授	バイオリファイナリー研究 開発 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 講 I 表環境・生物機能工学輪 講 I	**	兼担	教授	バイオリファイナリー研究 開発 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 講I 議I 議面	兼担	教授	バイオリファイナリー研究 開発 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 講 I 表の環境・生物機能工学輪 講 I
		伊東 淳一			伊東 淳一				伊東 淳一			伊東 淳一
		<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
兼担	教授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I エネルギー変換・制御工学特論 研究者倫理	兼担	教授	エネルギー工学編講 I エネルギー工学編講 I エネルギー変換・制御工学 特論 研究者倫理	3	兼担	教授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I エネルギー変換・制御工学 特論 研究者倫理	兼担	教授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I エネルギー変換・制御工学 特論 研究者倫理
		中山 忠親			中山 忠親				中山 忠親			中山 忠親
		<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
兼担	教授	ものづくりDXシステム特論 研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I	兼担	教授	ものづくりDXシステム特論 研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I	3	兼担	教授	ものづくりDXシステム特論 研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I	兼担	教授	ものづくりDXシステム特論 研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I
		山田 昇			山田 昇				山田 昇			山田 昇
		<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
兼担	教授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 熱エネルギー工学特論	兼担	教授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 熱エネルギー工学特論	7	兼担	教授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 熱エネルギー工学特論	兼担	教授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 熱エネルギー工学特論
		大沼 清			大沼 清				大沼 清			大沼 清
		<令和4年4月> 博士(理学)			<令和4年4月> 博士(理学)				<令和4年4月> 博士(理学)			<令和4年4月> 博士(理学)
兼担	教授	幹細胞工学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I	兼担	准教 授	幹細胞工学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輸 講 I 社会環境・生物機能工学輸	3	兼担	准教 授	幹細胞工学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輸 講 I 社会環境・生物機能工学輸	兼担	准教授	幹細胞工学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 講 I 社会環境・生物機能工学輪
		牧 慎也			講 II 牧 慎也				講Ⅱ 牧 慎也			講 II 牧 慎也
		<令和4年4月>			<令和4年4月>				<令和4年4月>			<令和4年4月>
兼担	教授	博士(工学) 環境システム工学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I	兼担	准教 授	博士(工学) 環境システム工学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 請 I 社会環境・生物機能工学輪	7	兼担	准教 授	博士(工学) 環境システム工学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 請 I 社会環境・生物機能工学輪	兼担	准教授	博士(工学) 環境システム工学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 請 I 社会環境・生物機能工学輪
		田中論			講工 田中 諭	-			講工 田中 諭			講工 田中 諭
		< 令和4年4月 > 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
専	准教 授	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 無機構造材料工学特論	兼担	准教 授	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 無機構造材料工学特論	3	兼担	教授	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 無機構造材料工学特論	兼担	教授	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 無機構造材料工学特論
		姫野 修司			姫野 修司				姫野 修司			姫野 修司
		<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
兼担	准教 授	環境システム工学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I	兼担	准教 授	環境システム工学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輸 諸 I 社会環境・生物機能工学輸 講 I	197	兼担	准教 授	環境システム工学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 講 I 社会環境・生物機能工学輪 講 I 議 I	兼担	准教授	環境システム工学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 請 I 社会環境・生物機能工学輪 請 I 記載 I
		山﨑 渉			山﨑 渉				山﨑 渉			山﨑 渉
		<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)				<令和4年4月> 博士(工学)			<令和4年4月> 博士(工学)
兼担	准教 授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 流体エネルギー工学特論	兼担	准教 授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 流体エネルギー工学特論	3	兼担	准教 授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 流体エネルギー工学特論	兼担	准教授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 流体エネルギー工学特論

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		佐々木 徹
		<令和4年4月> 博士(理学)
専	准教 授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 高エネルギー密度プラズマ物性 工学特論
兼担	准教授	Noor Haida Binti Mohd Kaus <令和4年4月> Ph. D in Chemistry (イギリス)
		研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 II
		村上 健太
		<令和4年4月> 博士(工学)
兼任	講師	原子カエネルギーマネジメント 特論 エネルギー工学輸講 I エネルギー工学輸講 I

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		佐々木 徹 <令和4年4月> 博士(理学)
兼担	准教 授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 高エネルギー密度プラズマ 物性工学特論
兼担	准教授	Noor Haida Binti Mohd Kaus <令和4年4月> Ph.D in Chemistry (イギリ ス)
		研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I
		村上 健太 <令和4年4月> 博士(工学)
兼任	講師	原子力エネルギーマネジメント特論 エネルギー工学輪排エ エネルギー工学輪排エ

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	佐々木 徹 《令和4年4月》 博士(理学)  エネルギー工学輸講 I エネルギー工学輸講 I ボネルギー型等輸講 I 研究者倫理 高エネルギー密度プラズマ 物性工学特論
兼担	准教授	Noor Haida Binti Mohd Kaus  <令和4年4月> Ph.D in Chemistry (イギリ ぶ)  研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I
		村上 健太 <令和4年4月> 博士(工学)
兼任	講師	原子カエネルギーマネジメント特論 エネルギー工学輪等エ エネルギー工学輪等エ

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		佐々木 徹 <令和4年4月> 博士(理学)
兼担	准教授	
兼担	准教授	Noor Haida Binti Mohd Kaus <令和4年4月> Ph. D in Chemistry (イギリ ス)
		研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 II

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
  ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。
  その上で、各年度については、**認可時又は周出時の参変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の道年齢**を記入してください。
  ・ 専任(専門職大学等は専、実章、実(研)、実み)、兼担、兼任の順に記入してください。
  ・ 不安な年度(今和5年度開設であれば今和4年度以前)の表は適宜削除してください。
  ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段

#### (1) - ②担当教員表に関する変更内容

#### 【令和4年度】

```
【令和4年度】

・大石潔教授、所属変更のため兼担から専任に変更。
・河合晃教授、所属変更のため兼担から専任に変更。
・河合晃教授長、環職のため、欄を削除。
・山形浩史教授、専任教員に成任のため、欄を追加。
・三浦友史教授、専任教員に直しにより、担当科目を変更。
・加藤有行准教授、職名を教授に変更更。
・週道徹彩子准教授、職名を教授に変更更。
・羽山徹彩子准教授、職名を教授に変更。。
羽山徹彩子准教授、費中任教員に就任のため、欄を追加。
・中平勝子准教授、授業件担の見直しにより、担当科目を変更。
・小本時事子准教授、授業代担の見直しにより、担当科目を変更。
・本持哲弘准教授、長任教員に就任のため、欄を追加。
・章冬准教授、専任教員に就任のため、欄を追加。
・章冬准教授、専任教員に就任のため、根望追担目目を変更。
・和知義者、教授、東任教員に就任のため、根望、担当科目を変更。
・和元精准教授、専任教員に就任のため、欄を追加。
        原圭祐准教授、専任教員に就任のため、欄を追加。
   ・野中尋史教授、退職のため、欄を削除。
・眞田聖紀子准教授、授業分担の見直しにより、担当科目を変更。
・大橋智志准教授、授業分担の見直しにより、担当科目を変更。
・西山雄大講師、職名を准教授に変更。
・西山雄大講師、職名を准教授に変更。
・上村直史権教授、専任教員に就任のため、欄を追加。
・上村直史推教授、専任教員に就任のため、欄を追加。
・坂本盛嗣准教授、専任教員に就任のため、欄を追加。
・坂本盛嗣推教授、専任教員に就任のため、根
日高勇気跡で、職名と推教授に変更。
・庄司観志講師、職退職のため、欄を削除。
・日高朝護師師、職退職のため、欄を削除。
・藤原住枯誦師、兩國を教員に就任のため、欄を追加。
・藤澤哲태師、所属変更のため相当科を追加。
・藤澤哲田講師、所属変更のため根と追加。
・加藤哲平講師、再任教員に就任のため、欄を追加。
・田神論推教授、所属変更のため専任から兼担に変更。
・佐本本徹准教授、所属変更のため専任から兼担に変更。
・七々本、
     【令和5年度】
```

```
【令和5年度】

・大石潔教授、退職のため、欄を削除。
・芳賀仁准教授、退職のため、欄を削除。
・芳賀仁准教授、退職のため、欄を削除。
・芳賀仁准教授、退職のため、欄を削除。
・大橋智志准教授、退職のため、欄を削除。
・濟藤信雄准教授、退職のため、欄を削除。
・渡部康平准教授、提樂分担の見直しにより、担当科目を変更。
・幡本将史准教授、授樂分担の見直しにより、担当科目を変更。
・藤原郁子准教授、職名を教授に変更。
・鈴木常生准教授、職名を教授に変更。
・ 命和剛准教授、職名を教授に変更。
・ 和剛准教授、職名を教授に変更。
・ 小松俊哉准教授、職名を教授に変更。
・ 小松俊哉准教授、東任教員に就任のため、欄を追加。
・ 雲居玄道講師、専任教員に就任のため、欄を追加。
・ 雲居玄道講師、専任教員に就任のため、欄を追加。
     雲居玄道講師、専任教員に就任のため、欄を追加。高橋一匡助教、専任教員に就任のため、欄を追加。
```

#### 【令和6年度】

```
【令和6年度】

・門脇敏教授、退職のため、欄を削除。
・塩野公明教授、退職のため、欄を削除。
・本多元教授、退職のため、欄を削除。
・本多元教授、退職のため、欄を削除。
・斎藤秀俊教授、退職のため、欄を削除。
・斎藤秀俊教授、退職のため、欄を削除。
・伊藤為指教授、退職のため、欄を削除。
・伊藤治路教授、退職のため、欄を削除。
・伊藤治路教授、退職のため、欄を削除。
・伊藤治路教授、退職職のため、欄を削除。
・適藤相の主教授長、退職のため、欄を削除。
・這藤格子浩教授、退職のため、欄を削除。
・宮高下高資産准教授、退職のため、欄を削除。
・富橋日山とはり、担当科目を変更。
・宮高下衛資産准教授、退職のため、欄を削除。
・自福力と推教授、退職のを対し、個。
・倉橋」と、機教授、退職のため、欄を削除。
・自川智弘権投授、援業分担の見直しにより、担当科目を変更。
・原部部東准教授、授業分担の見直しに削除。
・順部東半権教授、関職のため、欄を削除。
・頂川長介准教授、専任教員に就任のため、欄を追加。
・張川長介准教授、専任教員に就任のため、欄を追加。
・河貝馬作雅教授、専任教員に就任のため、欄を追加。
・大平沢士権教授、専任教員に就任のため、欄を追加。
・東島大権教授、専年任教員に就任のため、欄を追加。
・奥島大権教授、専年任教員に就任のため、欄を追加。
・東日教授、東年任教員に就任のため、欄を追加。
・申田林樹准教授、専年教員に就任のため、欄を追加。
   - 興島大准教授、専任教員に就任のため、欄を追加。
- 中田祐樹准教授、専任教員に就任のため、欄を追加。
- 勝木将人准教授、専任教員に就任のため、欄を追加。
- 田下佳祐講師、職名を准教授に変更。
- 雲居玄道講師、授業分担の見直しにより、担当科目を変更。
- 高橋一匡講師、職名を准教授に変更。また、授業分担の見直しにより、担当科目を変更。
- Do Thi Mai Dung助教、専任教員に就任のため、欄を追加。
- 小林高臣教授、退職のため、欄を削除。
- 村上健太講師、退職のため、欄を削除。
```

- (注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
  - 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査 (AC教員審査) を受けてください。原則としてAC教員審査を受けずに享任教員として授業等を担当することは出来ませ、
  - AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
  - なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。

#### (2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
10	7	0
名	名	名

(注)・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号)により 算出される教員数を記入してください。

#### (2) -② 専任教員等数【大学院】

	の計画	Đ	現在(報告時)の状況														
教 授	教 授 准教授 講 師 助 教 計 (A)					助手 (A')		教士	受	准	<b>‡教授</b>	講館	雨	助教	計 (B)	助手 (B')	
46		64	5	0		115	0		55		65		4		1	125	0
(52)		(66) (5)		(0)		(123)	(0)										
研究 指導 教員 数 す	指導 研究指導補助 教員 うち数 教員数			魔のみ担当 D教員数	,			研究 指導 教 数	うち 授	教数	研究指 教員			義のみ担当 の教員数	,		
						84	53	3	3	9		2					
		現在(	報告時)	の	完成年度時	の状況						現在(	報告時)	の	完成年度時	の計画	
教 授	<b>A</b>	<b>‡教授</b>	講自	π	助教	(C) 計	助手 (C')		教技	受	准	<b>主教授</b>	講館	īπ.	助教	計 (D)	助手 (D')
55		65	4		1	125	0		55		65		4		1	125	0
[ 9 ]	] [	1 ]	[ △1	]	[ 1 ]	[ 10 ]	[ 0	]	[ 9	]	[	1 ]	[ △1	]	[ 1 ]	[ 10 ]	[ 0 ]
研究 指導 教 う	うち教 授数	研究指			義のみ担当 D教員数				研究 指導 教 数	うち 授		研究指			義のみ担当 の教員数		
84	53	3	9		2				84	50	3	3	9		2		
[3]	[9]	[ 9	) ]		[△2]				[3]	[9	]	[ !	9]		[ \( \Delta 2 \) ]		

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。
  - ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください
  - · 「現在 (報告時) の完成年度時の状況」には、駆可で設置された学部等の場合は、「現在 (報告時) の状況」に記入した数字に、 数員審査を受響済みであり、完成年度までに就任する数員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、 数具要を文書店かてのり、元成平底までに駆任する数具数を加えた数を、脳口で改置された子部等が適宜は、 「現在(報告時)の状況」に配入した数字に、完成年度までに就任することが決定している数員数を加えた数を配入するとともに、 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1) ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

#### (2) - ③ 年齢構成

	年齢構成	
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 (教授、准教 授、講師) 61 (助教)	0	0
哉	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢 (特例等による定年年齢ではありません)、 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
  - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、 「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
  - (2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C) = 125 設置時の計画(A) = 115

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 = 0 125 = 125

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - (2) ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C') 設置時の計画(A')

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

### (3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退 (未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	<b>後</b>	任補充状況	j	就任辞退(オ	₹就任)の理	由					
				必修	材料工学輪講	I	1	────────────────────────────────────								
1	教授	河合 晃	R4. 3	必修	材料工学輪講	I	1	DA 218 PPM C	、+. い <b>==</b> / / エウ	'B (4)						
'	我按	州口 光	N4. 3	必修	研究者倫理		1	N4. 3返城()	ノンスクがん 1工 百千	这。(4)						
				選択	機能材料工学物	寺論	1									
				必修	材料工学輪講	I	1									
2	教授	北谷 英嗣	R4. 3	必修	材料工学輪講	II	1	R4. 3退職の	R4.3退職のため就任辞退。(4)							
				必修	研究者倫理		1									
				必修	情報・制御工学輪	講I	1									
3	准教授	野中。尋史	R4. 3	必修	情報・制御工学輪	講Ⅱ	1	D/ 2:日 陸 の	ため就任辞	E (4)						
3	准叙技	野中 等丈	N4. 3	必修	研究者倫理		1	T4. 3返戦0.	) /こ Ø ) 別ん1士 計士	返。(4)						
				選択	社会情報学特	論	1									
				必修	材料工学輪講	I	1									
,	4 准教授 田中 諭		R4. 3	必修	材料工学輪講	II	1	D/ 2学由部	- R4.3学内所属変更のため就任辞退。(4)							
4	准叙技	四十 調	N4. 3	必修	研究者倫理		1	N4. 3-F [7] [7]	禹多史のた	の飛ば許返。	(4)					
				選択	無機構造材料工学	特論	1									
				必修	エネルギー工学輪	講I	1									
5	准教授	佐々木 徹	R4. 3	必修	エネルギー工学輪	講Ⅱ	1	D/I 2学内部	- -R4.3学内所属変更のため就任辞退。(4)							
3	准狄汉	在《小 版	114.0	必修	研究者倫理		1		117.0丁円川周冬丈ツた町別は肝区。(4)							
				選択	高エネルギー密度プラズマ物性	学特論	2									
				必修	材料工学輪講	I	1									
6	講師	藤原 健志	R4. 3	必修	材料工学輪講	I	1	R4. 3退職の	ため就任辞	退。(4)						
				必修	研究者倫理		1									
		合計	(D)					後任補充状況	兄の集計(E	)						
京	<b>尤任を辞</b>	退した教員数	担当科目	数の合計	(a) + (b) + (c)	①の合	·計数(a)	②の合語	計数(b)	③の合計	†数(c	;)				
			必	修	18 科目	必修	18 ፣	4目 必修	0 科目	必修	0	科目				
	_		選	択	4 科目	選択	3 1	選択	1 科目	選択	0	科目				
	6	人	自	由	0 科目	自由	0 1	4目 自由	0 科目	自由	0	科目				
				†	22 科目	計	21 ፣	4目 計	1 科目	計	0	科目				

- (注) · 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
  - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、<a href="mailto:red">赤字にて記入するとともに、</a> 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

  - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

# (3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
				必修	エネルギー工学輪講I	1			
1	准教授	齊藤 信雄	R5. 3	必修	エネルギー工学輪講Ⅱ	1	R5.3退職のため就任辞退。(5)		
				必修	研究者倫理	1			
				必修	エネルギー工学輪講 I	1			
2	₩ ₩ ₩	芳賀 仁	R5. 3	必修	エネルギー工学輪講Ⅱ	1	DE 218 PM O + W = 1 (F)		
2	准教授	万貝 1_	KO. 3	必修	研究者倫理	1)	R5.3退職のため就任辞退。(5)		
				選択	エネルギー変換・制御工学特論	1)			
				必修	情報・制御工学輪講 I	1)			
3	准教授	大橋 智志	R5. 3	必修	情報・制御工学輪講Ⅱ	1	R5.3退職のため就任辞退。(5)		
J	准叙技	人们 自心	NO. 3	必修	研究者倫理	1	N3. 3这哦07/287机甘矸这。(5)		
				選択	生体医工学特論	1			
				選択	経営戦略特論	3			
4	教授	伊藤 嘉浩	R6. 3	必修	研究者倫理	1	R6.3退職のため就任辞退。(6)		
4	我按	プア 素元	NU. 3	必修	情報・制御工学輪講 I	1	NO. 3返戦の7287派任辞返。(O)		
				必修	情報・制御工学輪講Ⅱ	1			
				必修	研究者倫理	1			
5	准教授	宮下 剛	R6. 3	必修	社会環境・生物機能工学輪講Ⅰ	1	R6.3退職のため就任辞退。(6)		
J	准叙技	五下 剛		KO. 3	NO. 3	10. 5	必修	社会環境・生物機能工学輪講Ⅱ	1
				選択	複合材料・構造学特論	1			
				必修	研究者倫理	1			
6	准数坪	松田(上米良) 曜子	R6. 3	選択	災害軽減・復興システム学特論	1	R6.3退職のため就任辞退。(6)		
U	准叙技	仏田(工木及) 唯丁	NU. 3	必修	社会環境・生物機能工学輪講Ⅰ	1	NO. 3返戦の7287が任許返。(O)		
				必修	社会環境・生物機能工学輪講Ⅱ	1			
				必修	研究者倫理	1			
7	准教授	白川 智弘	R5. 9	必修	情報・制御工学輪講 I	1	R5.9退職のため就任辞退。(6)		
'	准叙权	口川 百弘	NO. 9	必修	情報・制御工学輪講Ⅱ	1	10. 3区域の/にの飛江許区。(6)		
				選択	人間・社会・産業情報学特論	1			
		_		必修	材料工学輪講I	1	·		
8	准教授	原 圭祐	R6. 3	必修	材料工学輪講Ⅱ	1	R6.3退職のため就任辞退。(6)		
	/正 1人]文			必修	研究者倫理	1			
				選択	ネットワークシステム特論	1			
			-	必修	研究者倫理	1			
9	准教授	渡部 康平	R6. 3	必修	情報・制御工学輪講 I	1	R6.3退職のため就任辞退。(6)		

Ī				l [	必修	情報	・制御工学輪	講Ⅱ	1							
					選択	カオス・	フラクタル情報数理工	学特論	1							
					必修	Ŧ	研究者倫理		1							
10	講師	藤澤	慶	R6. 3	必修	エネノ	レギー工学輪	講I	1		R6.3退職のため就任辞退。(6)					
					必修	エネノ	レギー工学輪	講Ⅱ	1		7					
			合計	(F)						í	<b>後任補充状況</b>	の集計	(G)			
	辞任し	した教員数		担当科目	数の合計	† (a) +	(b) + (c)	① <b>o</b> ·	合計数(	a)	②の合計	十数 (b)		③の合計	数(c	)
				必	修	30	科目	必修	30	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
				選択		8	科目	選択	7	科目	選択	0	科目	選択	1	科目
	10 人		自由		0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
			ii	ŀ	38	科目	計	37	科目	計	0	科目	計	1	科目	

- (注)・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」
  - に辞任理由等及び( ) 書きで報告年度を記入してください。 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

  - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
  - (3) -3 上記(3) -1 ・ (3) -2 の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合			③の合計	計数 (c)			
		必修	48	科目	必修	48 科目	必修	0 科目	必修	0 科
		選択	12	科目	選択	10 科目	選択	1 科目	選択	1 科
16	Α	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科
		計	60	科目	計	58 科目	計	1 科目	計	1 科

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

					-
(3)-(3)合計(D)+(F)	_	16	_	40.04	١,,,
(2)-②設置時の計画(A)	=	115	= ד	13.91	%

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - (3) 一⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

7

- (注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。 ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

#### (3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充制	犬況		辞任等の	理由			
			必修	エネルギー工学輪講 I	1							
1 教授	大石 潔	必修	エネルギー工学輪講Ⅱ	1		DE 2 2	R5.3.31付け65歳で定年退職 (5)					
'	教授   人仁 孫	人口 孫	必修	研究者倫理	1		NO. 0. 0	31付け65歳で疋年退職 (5)				
		選択	パワーエレクトロニクス・メカトロニクス工学特論	1								
			必修	エネルギー工学輪講 I	1							
2	教授	門脇・敏	必修	エネルギー工学輪講 Ⅱ	1		R6 3 3	1付け65巻で	完在混職 (	6)		
	4X1X	1 11001 148	選択	火災・爆発安全特論	3		R6.3.31付け65歳で定年退職 (6)					
			必修	研究者倫理	1							
			選択	スポーツエ学・ヒューマンダイナミクス融合特論	3							
3	教授	塩野谷 明	必修	研究者倫理	1		R6.3.31付け65歳で定年退職 (6)				`	
Ŭ	4X1X	4m x1/10 PM	必修	社会環境・生物機能工学輪講Ⅰ	1		110. 0. 0	.31刊1703威で足平返戦(6)				
			必修	社会環境・生物機能工学輪講Ⅱ	1							
			必修	研究者倫理	1							
4	教授	本多 元	必修	社会環境・生物機能工学輪講Ⅰ	1		R6. 3. 3	R6. 3. 31付け65歳で定年退職 (6)				
			必修	社会環境・生物機能工学輪講Ⅱ	1							
			必修	研究者倫理	1							
5	教授	城所 俊一	必修	社会環境・生物機能工学輪講Ⅰ	1		R6. 3. 31付	1付け65歳で	付け65歳で定年退職(6)			
			必修	社会環境・生物機能工学輪講Ⅱ	1							
			必修	研究者倫理	1							
6	准教授	内田 希	必修	材料工学輪講I	1		D6 3 31	3.31付け65歳で定年退職 (6)				
U	准叙技	内田 布	必修	材料工学輪講Ⅱ	1		RO. 3. 319 17 00 歳 C 足 平 返 戦			(0)		
			選択	無機構造材料工学特論	2							
			必修	研究者倫理	1							
7	准教授	伊藤 治彦	必修	材料工学輪講 I	1		R6.3.31付け65歳で定		中午退職 (	2年退職 (6)		
,	准叙技	<b>伊滕 石</b> 尽	必修	材料工学輪講Ⅱ	1		10. 5. 5	3.3.31列1703歲 C 上 平 巡 戦 ( 6 )				
			選択	材料物性学特論	1							
合計				後任補充状況の集計								
辞任した教員数 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数	数 (a)	②の合言	†数 (b)	③の合言	十数(	c)			
	_		必修	21 科目	必修	21 科目	必修	0 科目	必修	0	科目	
			選択	5 科目	選択	2 科目	選択	1 科目	選択	2	科目	
	7	人	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0	科目	
			計	26 科目	計	23 科目	計	1 科目	計	2	科目	

- (注) · **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
  - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

  - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職教員の担当科目については、学内の他の教員が担当するため、教育上の支障はない。 学生への周知方法については、変更後の教員名をシラバスや時間割に記載していることから、特に問題はないと考える。

(注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

# 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附帯事項	等	履行状況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和3年)	特になし			
設置計画履行状況調 査 結 果 (令和4年)				
設置計画履行状況調 査 結 果 (令和5年)				

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。</u>) と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
  - ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、 以下のとおりに記載してください。

### 【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

#### 【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)(6)」と記載してください。

【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】 「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、<u>**当該大学に付された指摘を</u></u>** 

全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。 その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

- 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

### 7 その他全般的事項

<工学研究科 先端工学専攻>

# (1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし
<b>以当な</b> じ	BX 3 '6 C

- 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD·SD活動含む)

#### ① 実施体制

a 委員会の設置状況

学部及び大学院における教育方法改善に係る調査・研究、企画及び実践等を通じ技術者教育の総合的な推進を 図るために、教育方法開発センターを設置している。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

10数名で構成される教育方法開発センター会議を年に4~5回開催している。

- c 委員会の審議事項等
  - 授業及び研究指導の内容又は方法の改善を図るための組織的な研修及び研究に関すること。
  - 教育効果測定の方法改善及び分析に関すること。
  - 共通教育と専門教育の教育方法の連携に関すること
  - その他実践的な技術者教育の総合的な計画及び推進に関すること。

#### ② 実施状況

a 実施内容

#### 記入例)

- 新任教員のためのFD研修会
- FD講演会及び授業スキルアップ研修会
- 公開授業及び討論会
- 授業アンケート
- b 実施方法

  - 1 教育方法開発センターで企画立案し、教育方法開発センターを主体に組織的に実施している。 2 FD講演会及び授業スキルアップ研修会について、内容等を教育方法開発センターで企画立案し、学内講師 または外部講師により実施している。
  - 公開する授業を教育方法開発センターが選定して公開授業を実施し、終了後に授業を実施した教員と授業を 参観した教員間でディスカッションを実施している。
  - 学生に対する授業アンケートを実施し、教育方法開発センターにおいて、アンケート結果を集計・分析し て、授業担当教員にフィードバックしている。
- c 開催状況(教員の参加状況含む)

  - 新任教員FD研修会は、年1回4月上旬に実施し、原則新任教員は全員参加としている。 FD講演会及び授業スキルアップ研修会は、年に7~10回実施し、受講希望者が受講している。
  - 3 公開授業は、年に2回程度実施している。10名程度の参加状況である。
  - 4 授業アンケートは、1学期と2学期に各1回実施している。
- 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 d

授業アンケート結果を教員にフィードバックして、教員個々の授業改善のために活用できるようにするとともに、それに対する教員アンケートを実施し、教員の授業改善への意識づけや授業アンケートに対する意見・要望を把握するなど、組織的に取り組んでいる。

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
  - a 実施の有無及び実施時期

博士後期課程の学生に対しては、実施していない。

- b 教員や学生への公開状況、方法等
- (注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

# (3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

### ① 体制

# 該当なし

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

- b 委員会の開催状況(回数や開催日など)
- c 委員会の審議事項等
- d その他
- ② 審議状況
  - a 審議した内容

#### 記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況
- c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

# (4) 自己点検・評価等に関する事項

<ul><li>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見 設置の趣旨・目的を達成するように計画通り実施している。 引き続き、設置の趣旨・目的に沿って、教育・研究の水準の向上に取り組んでいく。</li></ul>
② 自己点検・評価報告書
a 公表(予定)時期 令和6年度中公表予定
b 公表方法 ・大学ホームページ上に公開予定
③ 認証評価を受ける計画 ・令和7年度に評価機関(独立行政法人大学改革支援・学位授与機構)の評価を受ける予定。
(注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。 なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

# (5) 情報公表に関する事項

O 部	设置計画履行状況報告	書	(令和6年度)	
а	公表予定の有無	ĺ	有 無 ]	
≪ a 7	∵「有」の場合≫			
b	公表(予定)時期	ĺ	調査結果公表後1ヶ月以内・ 公表後2~3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 〕	
С	公表方法	ĺ	ウェブサイトへの掲載 その他( ) 〕	
≪ a 7	『公表「無」の場合≫			
d	公表しない理由	ĺ	J	

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、 設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。